

人工膝関節置換術に関する経験者・非経験者ギャップ調査 結果報告書

2017年3月16日
株式会社QLife

- 調査主体： 株式会社QLife(キューライフ)
- 協力： ジンマー・バイオメット合同会社
- 実施概要：
 - (1) 調査対象： 1. 人工膝関節置換術経験者・本人もしくはその家族
2. 60歳以上の変形性膝関節症患者
 - (2) 有効回収数： 1. 200名（本人78名／家族122名）
2. 600名
 - (3) 調査方法： インターネット調査
 - (4) 調査時期： 2017/2/14～2017/2/20

■本調査に関するお問い合わせ先
株式会社QLife QLife編集部 田中智貴 / TEL : 03-6685-2515 E-mail : info@qlife.co.jp

調査背景

加齢や肥満が原因で膝の関節軟骨がすり減り、関節が変形することで痛みを生じる「変形性膝関節症」。軽症のうちには痛みどめや湿布、ヒアルロン酸注射の治療やリハビリ、装具の装着で対応するが、重症例では手術療法が検討される。手術療法のひとつ、人工膝関節置換術は、痛みの原因となる変形した膝関節の表面を取り除き、人工関節に置き換える手術だ。痛みの原因部分を除去するため、痛みをとる効果が大きいといわれている。実際に手術を受けた患者は、手術をどう決断し、受けてみてどんな実感を抱いているのか。一方、膝の痛みを抱える変形性膝関節症患者は、将来、人工関節を入れることについてどう考えているのだろうか。人工膝関節置換術に関する意識調査を実施した。

結果概要

◆人工膝関節置換術を受けた患者「これ以上の痛みに耐えられない」ことから手術を決断

「これ以上の痛みに耐えられない」（66.0%）が最多。決断にあたり、62.0%が医師から影響を受けて気持ちを固めていた。

◆96%が人工膝関節置換術を受けて「よかった」と回答。56.0%は「適切なタイミングで受けられた」

「適切なタイミングで受けられたと思う」と答えた患者は56.0%。「もっと早く受ければよかった」も40.0%いた。手術を受けてよかったことは、「痛みが減った」（69.5%）。「前より楽に歩けるようになった」（58.0%）、「自分の力だけで日常生活を送れるようになった」（34.0%）、「前より楽に外出できるようになった」（22.5%）と続き、QOLが向上していることがうかがえた。

◆手術を受けていない変形性膝関節症患者が、膝の痛みでできないこと「階段の昇降」「運動」「立ち座り」

51.0%が「階段などの昇降」と回答。さらに43.7%が「運動」を挙げた。「立ち座り」は36.3%だった。現在受けている治療に対して、52.5%が何らかの不満を抱いており、その理由は「痛みがとれない」（30.0%）「治療がいつまで続くのか説明がない」（21.7%）「改善しているのかどうか説明が少ない」（15.3%）だった。

◆手術を受けていない変形性膝関節症患者の54.0% 将来、人工膝関節置換術を受けるかどうか「わからない」

将来的に症状が悪化し、医師から人工膝関節置換術を勧められた場合に、手術を「受ける」と回答したのは13.8%だった。「受けない」は32.2%、「わからない」との回答が54.0%と最も多かった。ただし、手術について医師から説明を受けたことがある患者は、31.8%が今後手術を「受けたい」と回答。一方、医師からの説明がなかった患者は20.7%が「受けたくない」と回答した。

人工膝関節置換術に対しては、「費用が高そう」（34.3%）、「手術療法に不安や抵抗がある」（25.7%）、「リハビリテーションが長い、大変そう」（24.3%）というマイナスイメージを抱いていた。

◆人工膝関節置換術後は、治療や介助・対策は「特になし」35.5%

人工膝関節置換術を受けた患者の35.5%は、現在実施している治療や介助・対策は「特になし」と答えた。一方、人工膝関節置換術を受けていない患者は84.7%が何らかの治療や介助・対策を行っていた。

◆62.0%が医師の影響で人工膝関節置換術を受ける決意

人工膝関節置換術を受けた患者が影響を受けた人は、62.0%が「医師」、次いで「家族」（49.0%）が多かった。人工膝関節置換術を受けていない患者は、「他からの影響を受けない」と答えた患者が26.5%と、人工膝関節置換術を受けた患者の13.0%に比べて多かった。

人工膝関節置換術経験者（本人・家族）

調査実施概要

▼調査対象内訳

(1) 性別・年代

	男性	女性	n	%
	13	18	31	
	41.9%	58.1%	100.0%	
60代	14	26	40	
	35.0%	65.0%	100.0%	
70代	18	51	69	
	26.1%	73.9%	100.0%	
80代	3	45	48	
	6.3%	93.8%	100.0%	
90代以上	1	11	12	
	8.3%	91.7%	100.0%	

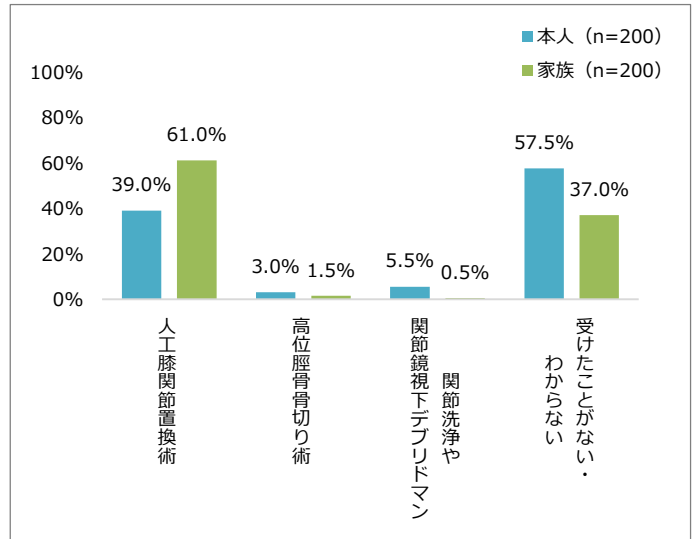
(2) 回答者内訳

	n	%
人工膝関節×導入者(本人)	78	39.0%
人工膝関節×導入者(家族)	122	61.0%
総数	200	100.0%

【SC1】あなた、および、ご家族の中に、膝の手術を受けたことのある方はいますか。

	人工膝関節置換術	高位脛骨骨切り術	関節洗浄や関節鏡視下デブリドマン	受けたことがない・わからない	n	%
本人	78	6	11	115	200	
	39.0%	3.0%	5.5%	57.5%	105.0%	
家族	122(3)	3(1)	1	74	200	
	61.0%	1.5%	0.5%	37.0%	100.0%	

※()内は本人・家族ともに回答あり、本人として集計した



※以下は、SC1で「家族」が「人工膝関節置換術」の手術を受けたことがあると答えた方のみ回答

【SC2】人工膝関節置換術を受けた方の性別

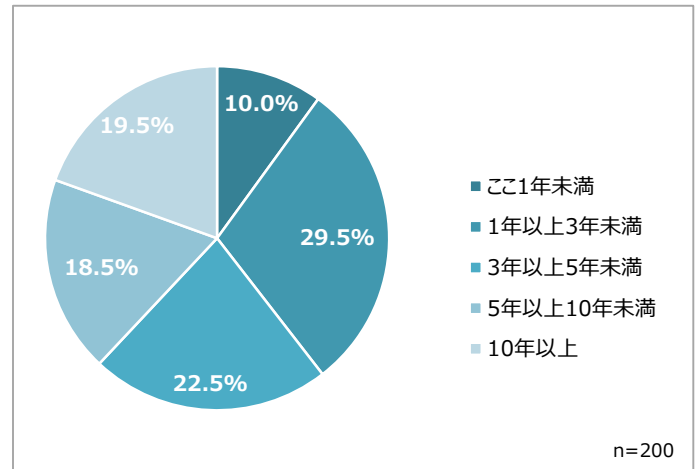
	n	%
男性	12	9.8%
女性	110	90.2%
総数	122	100.0%

【SC3】人工膝関節置換術を受けた方の現在の年齢

	n	%
60代未満	5	4.1%
60代	16	13.1%
70代	41	33.6%
80代	48	39.3%
90代以上	12	9.8%
総数	122	100.0%

【Q1】人工膝関節置換術を受けられたのは何年ほど前でしたか。

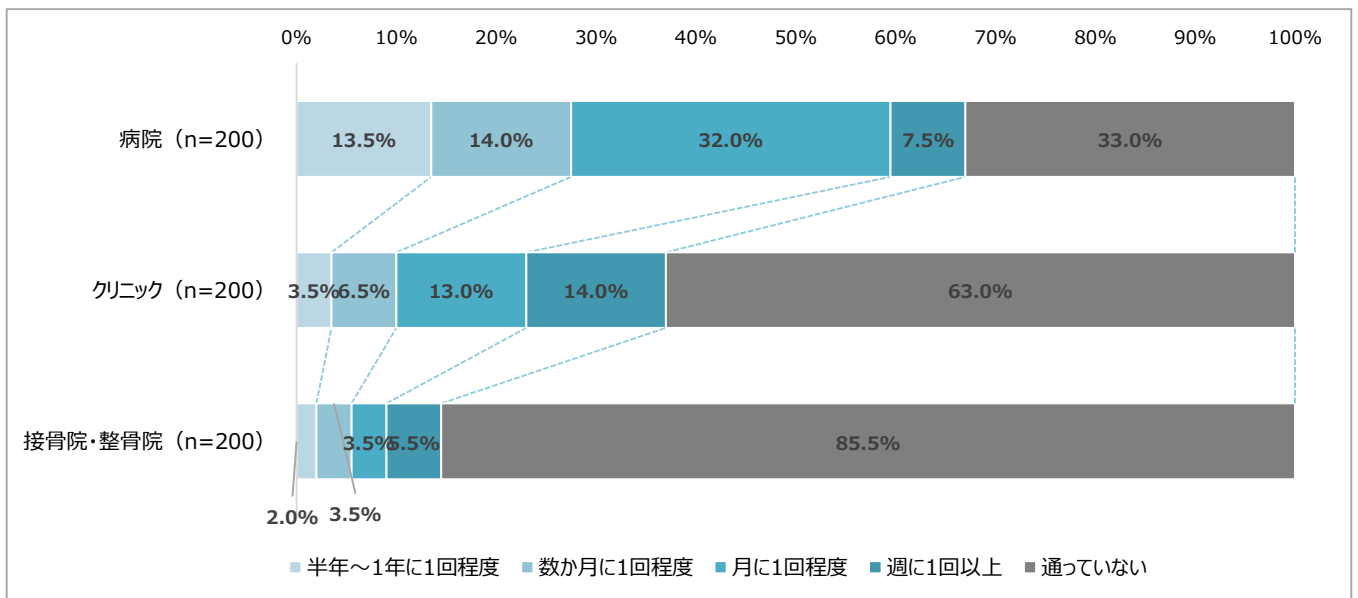
n=200		SA	
	n	%	
ここ1年未満	20	10.0%	
1年以上3年未満	59	29.5%	
3年以上5年未満	45	22.5%	
5年以上10年未満	37	18.5%	
10年以上	39	19.5%	
総数	200	100.0%	



【Q2】人工膝関節置換術を受けようと決断をされた頃、変形性膝関節症の治療・リハビリのために、定期的に通院していましたか。

病院への通院は「月に1回程度」が32.0%、「数か月に1回程度」は14.0%、「半年～1年に1回程度」は13.5%だった。クリニックへは「週に1回程度」が最も多く14.0%、「月に1回程度」が13.0%だった。接骨院・整骨院へは「週に1回程度」（5.5%）が最も多く、「月に1回程度」と「数か月に1回程度」がいずれも3.5%だった。

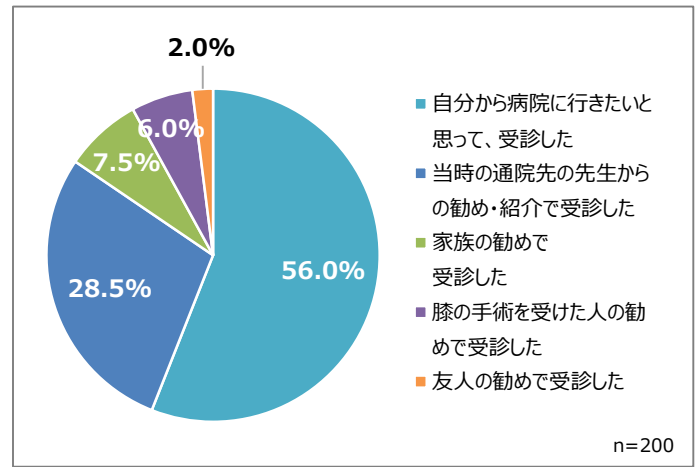
n=200		SA					n
		半年～1年に1回程度	数か月に1回程度	月に1回程度	週に1回以上	通っていない	%
病院		27	28	64	15	66	200
		13.5%	14.0%	32.0%	7.5%	33.0%	100.0%
クリニック		7	13	26	28	126	200
		3.5%	6.5%	13.0%	14.0%	63.0%	100.0%
接骨院・整骨院		4	7	7	11	171	200
		2.0%	3.5%	3.5%	5.5%	85.5%	100.0%



【Q3】はじめて病院を受診されたときの状況として、あてはまるものをお選びください。

「自分から病院に行きたいと思って、受診した」が56.0%と最も多く、次いで「当時の通院先の先生からの勧め・紹介で受診した」(28.5%)、「家族の勧めで受診した」(7.5%)、「膝の手術を受けた人の勧めで受診した」(6.0%)と続いた。

n=200		SA
	n	%
自分から病院に行きたいと思って、受診した	112	56.0%
当時の通院先の先生からの勧め・紹介で受診した	57	28.5%
家族の勧めで受診した	15	7.5%
膝の手術を受けた人の勧めで受診した	12	6.0%
友人の勧めで受診した	4	2.0%
総数	200	100.0%



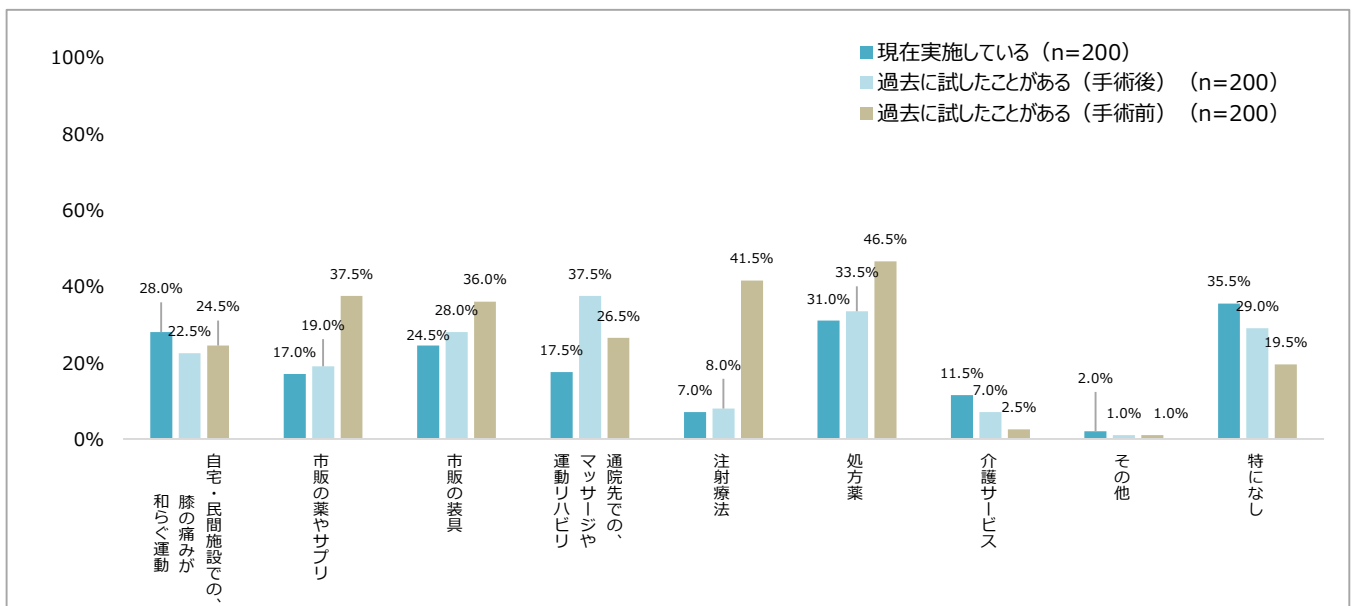
【Q4】今までにどのような治療や対策を試したことがありますか。また、現在、何か治療を受けられたり対策を取られていることはありますか。

現在実施している治療や対策は、「処方薬（痛みどめ、湿布など）」が31.0%と最も多く、次いで「自宅・民間施設での、膝の痛みが和らぐ運動」（28.0%）、「市販の装具」（24.5%）と続いた。

手術後に試したことがある治療法では、「処方薬（痛みどめ、湿布など）」（33.5%）、「通院先での、マッサージや運動リハビリ」（37.5%）、「市販の装具」（28.0%）の順だった。

手術前に試したことがある治療や対策は、「処方薬（痛みどめ、湿布など）」が46.5%と最も多く、次いで「注射療法」（41.5%）、「市販の薬（湿布、痛みどめなど）やサプリ」（37.5%）、市販の装具（36.0%）と続いた。

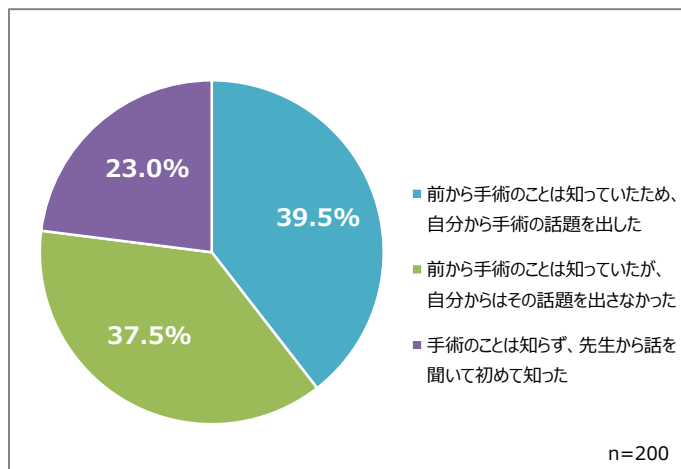
	自宅・民間施設での、膝の痛みが和らぐ運動	市販の薬（湿布、痛みどめなど）やサプリ	市販の装具（杖、足底板、サポーターなど）	通院先での、マッサージや運動リハビリ	注射療法	処方薬（痛みどめ、湿布など）	介護サービス	その他	特になし	n	%
現在実施している	56	34	49	35	14	62	23	4	71	200	
	28.0%	17.0%	24.5%	17.5%	7.0%	31.0%	11.5%	2.0%	35.5%	174.0%	
過去に試したことがある（手術後）	45	38	56	75	16	67	14	2	58	200	
	22.5%	19.0%	28.0%	37.5%	8.0%	33.5%	7.0%	1.0%	29.0%	185.5%	
過去に試したことがある（手術前）	49	75	72	53	83	93	5	2	39	200	
	24.5%	37.5%	36.0%	26.5%	41.5%	46.5%	2.5%	1.0%	19.5%	235.5%	



**【Q5】人工膝関節置換術を紹介されたときのことについてお聞きます。
先生との間で、人工膝関節置換術の話はどのように始まりましたか。**

手術前から人工膝関節置換術を知っていたのは77.0%で、39.5%は自分から手術の話題を出していた。手術前には人工膝関節置換術を知らなかったと答えたのは23.0%だった。

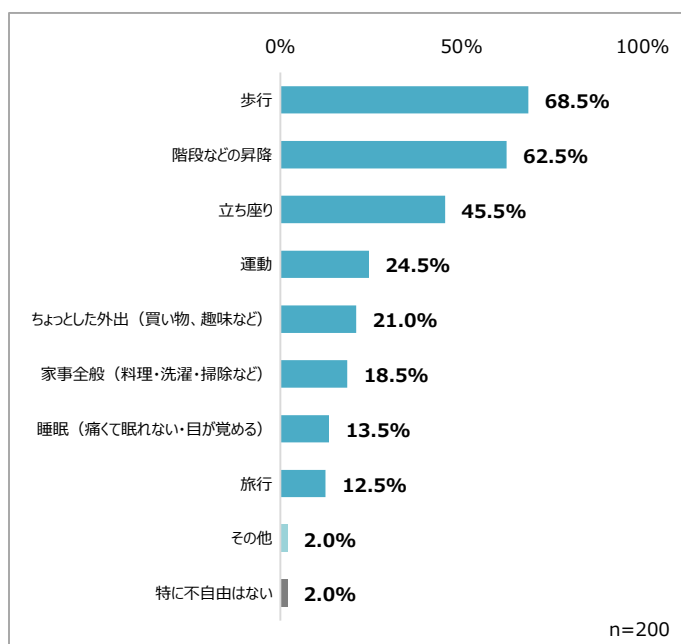
n=200	SA	
	n	%
前から手術のことは知っていたため、自分から手術の話題を出した	79	39.5%
前から手術のことは知っていたが、自分からはその話題を出さなかった	75	37.5%
手術のことは知らず、先生から話を聞いて初めて知った	46	23.0%
総数	200	100.0%



【Q6】人工膝関節置換術を受けようと決意された頃、膝の痛みのためにできなかった、または、しんどい・つらいと感じていたことは何ですか。もっともあてはまるものを最大3つまでお選びください。

「歩行」が最も多く68.5%で、次いで「階段などの昇降」(62.5%)、「立ち座り」(45.5%)、「運動」(24.5%)、「ちょっとした外出(買い物、趣味など)」(21.0%)と続いた。

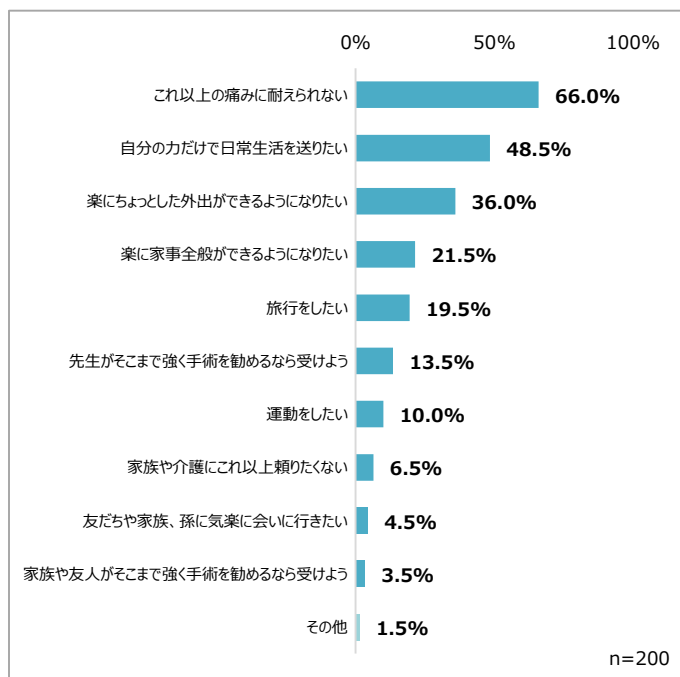
n=200	MA	
	n	%
歩行	137	68.5%
階段などの昇降	125	62.5%
立ち座り	91	45.5%
運動	49	24.5%
ちょっとした外出(買い物、趣味など)	42	21.0%
家事全般(料理・洗濯・掃除など)	37	18.5%
睡眠(痛くて眠れない・目が覚める)	27	13.5%
旅行	25	12.5%
その他	4	2.0%
特に不自由はない	4	2.0%
総数	200	270.5%



**【Q7】人工膝関節置換術を受けることをあなたが決意されたときのお気持ちはどのようなものですか。
もっとも近いものを最大3つまでお選びください。**

「これ以上の痛みに耐えられない」が66.0%と最多で、「自分の力だけで日常生活を送りたい」(48.5%)、「楽にちょっとした外出ができるようになりたい」(36.0%)、「楽に家事全般ができるようになりたい」(21.5%)と続いた。

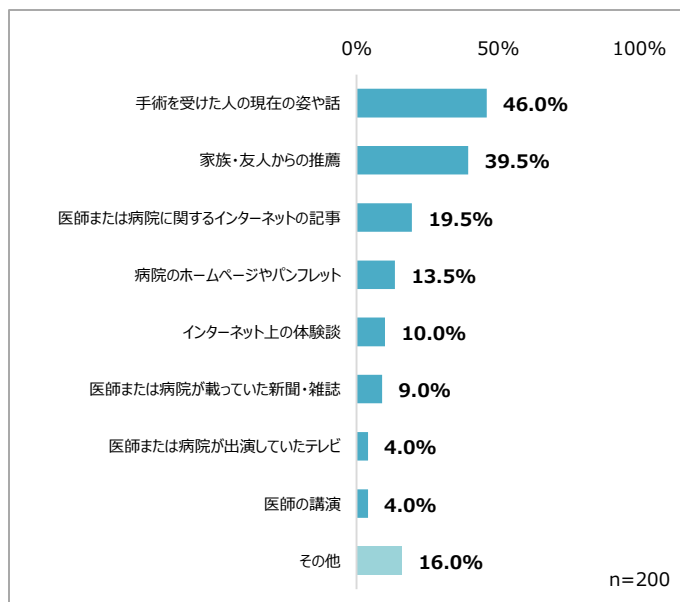
	n=200		MA
	n	%	
これ以上の痛みに耐えられない	132	66.0%	
自分の力だけで日常生活を送りたい	97	48.5%	
楽にちょっとした外出ができるようになりたい	72	36.0%	
楽に家事全般ができるようになりたい	43	21.5%	
旅行をしたい	39	19.5%	
先生がそこまで強く手術を勧めるなら受けよう	27	13.5%	
運動をしたい	20	10.0%	
家族や介護にこれ以上頼りたくない	13	6.5%	
友だちや家族、孫に気楽に会いに行きたい	9	4.5%	
家族や友人がそこまで強く手術を勧めるなら受けよう	7	3.5%	
その他	3	1.5%	
総数	200	231.0%	



**【Q8】人工膝関節置換術を決心した際の決め手となった情報は何ですか。
もっとも近いものを最大3つまでお選びください。**

「手術を受けた人の現在の姿や話」が最も多く46.0%で、次いで「家族・友人からの推薦」(39.5%)、「医師または病院に関するインターネットの記事」(19.5%)、「病院のホームページやパンフレット」(13.5%)と続いた。「その他」では、医師の勧めが多く挙げられた。

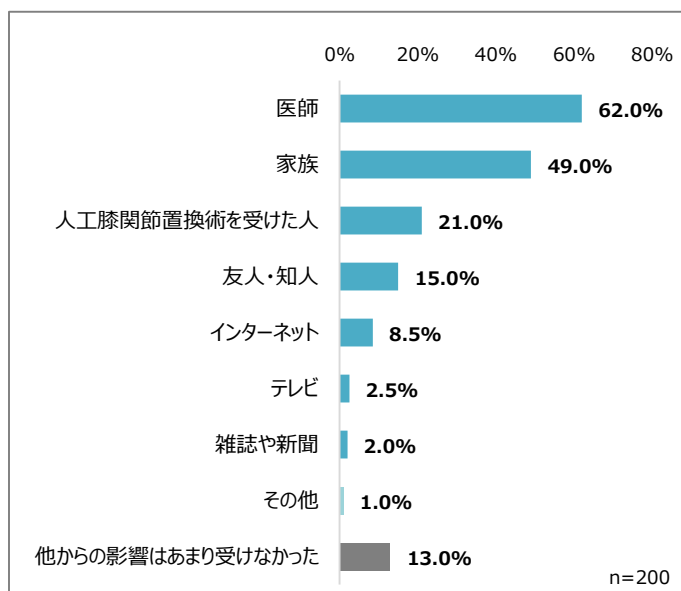
	n=200		MA
	n	%	
手術を受けた人の現在の姿や話	92	46.0%	
家族・友人からの推薦	79	39.5%	
医師または病院に関するインターネットの記事	39	19.5%	
病院のホームページやパンフレット	27	13.5%	
インターネット上の体験談	20	10.0%	
医師または病院が載っていた新聞・雑誌	18	9.0%	
医師または病院が出演していたテレビ	8	4.0%	
医師の講演	8	4.0%	
その他	32	16.0%	
総数	200	145.5%	



【Q9】人工膝関節置換術を受けるかどうかの決断に際して、あなたの決断に影響をあたえたのはだれ・何ですか。もっともあてはまるものを最大3つまでお選びください。

「医師」が62.0%で最も多く、次いで「家族」（49.0%）、「人工膝関節置換術を受けた人」（21.0%）、「友人・知人」（15.0%）と続いた。13.0%は「他からの影響はあまり受けなかった」と回答した。

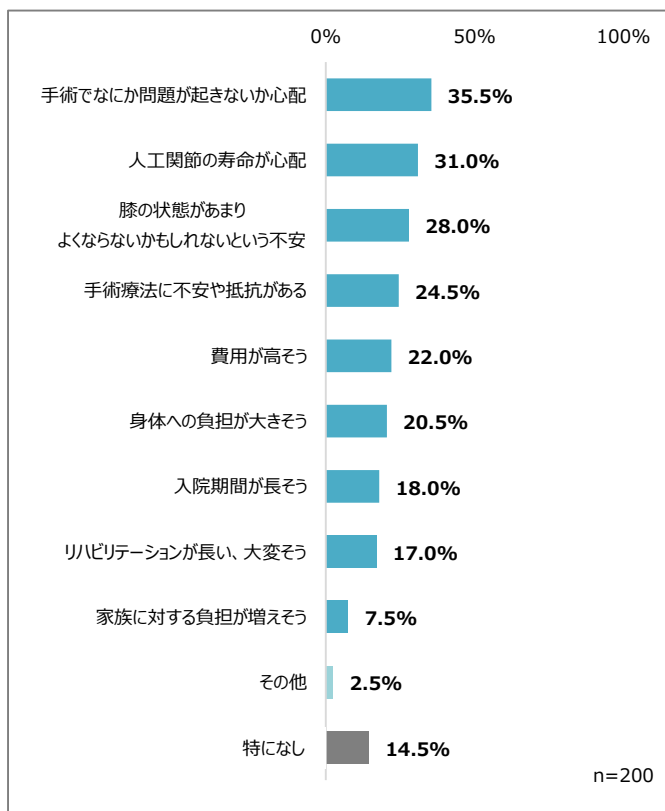
n=200		MA
	n	%
医師	124	62.0%
家族	98	49.0%
人工膝関節置換術を受けた人	42	21.0%
友人・知人	30	15.0%
インターネット	17	8.5%
テレビ	5	2.5%
雑誌や新聞	4	2.0%
その他	2	1.0%
他からの影響はあまり受けなかった	26	13.0%
総数	200	174.0%



【Q10】人工膝関節置換術を受けようとした頃、人工膝関節置換術について、不安やマイナスイメージはありましたか。もっともあてはまるものを最大3つまでお選びください。

85.5%が何らかの不安を抱いていた。その内容については、「手術でなにか問題が起きないか心配」が35.5%と最も多かった。次いで、「人工関節の寿命が心配」（31.0%）、「膝の状態があまりよくなるかもしれないという不安」（28.0%）、「手術療法に不安や抵抗がある」（24.5%）、「費用が高そう」（22.0%）、「身体への負担が大きそう」（20.5%）と続いた。

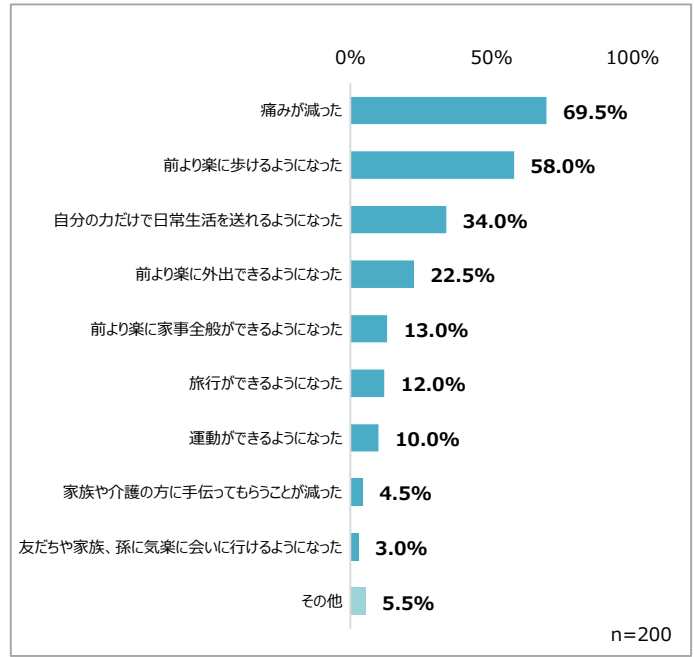
n=200		MA
	n	%
手術でなにか問題が起きないか心配	71	35.5%
人工関節の寿命が心配	62	31.0%
膝の状態があまりよくなるかもしれないという不安	56	28.0%
手術療法に不安や抵抗がある	49	24.5%
費用が高そう	44	22.0%
身体への負担が大きそう	41	20.5%
入院期間が長そう	36	18.0%
リハビリテーションが長い、大変そう	34	17.0%
家族に対する負担が増えそう	15	7.5%
その他	5	2.5%
特になし	29	14.5%
総数	200	221.0%



**【Q11】人工膝関節置換術を受けて良かったと思うことは何ですか。
もっとも当てはまるものを最大3つまでお選びください。**

「痛みが減った」が69.5%と最多で、次いで「前より楽に歩けるようになった」(58.0%)、「自分の力だけで日常生活を送れるようになった」(34.0%)、「前より楽に外出できるようになった」(22.5%)と続いた。

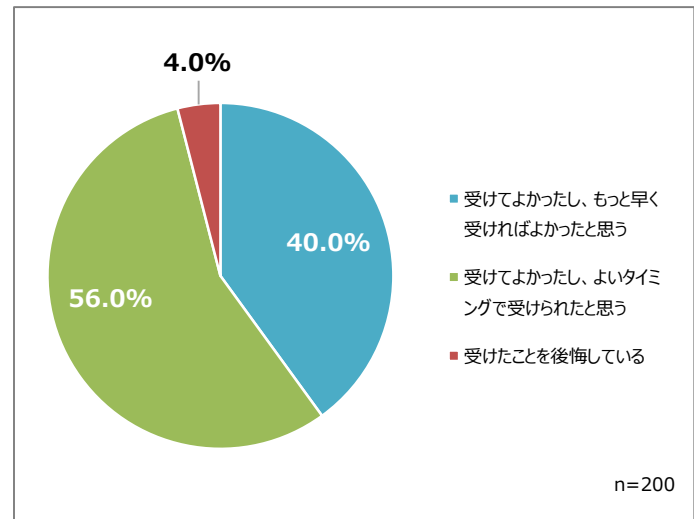
n=200		MA
	n	%
痛みが減った	139	69.5%
前より楽に歩けるようになった	116	58.0%
自分の力だけで日常生活を送れるようになった	68	34.0%
前より楽に外出できるようになった	45	22.5%
前より楽に家事全般ができるようになった	26	13.0%
旅行ができるようになった	24	12.0%
運動ができるようになった	20	10.0%
家族や介護の方に手伝ってもらったことが減った	9	4.5%
友だちや家族、孫に気楽に会いに行けるようになった	6	3.0%
その他	11	5.5%
総数	200	232.0%



【Q12】総合的に見て、人工膝関節置換術を受けてみてどう思いますか。

96.0%が受けてよかったと答えた。「もっと早く受ければよかった」は40.0%で、56.0%は「適切なタイミングで受けられたと思う」と答えた。

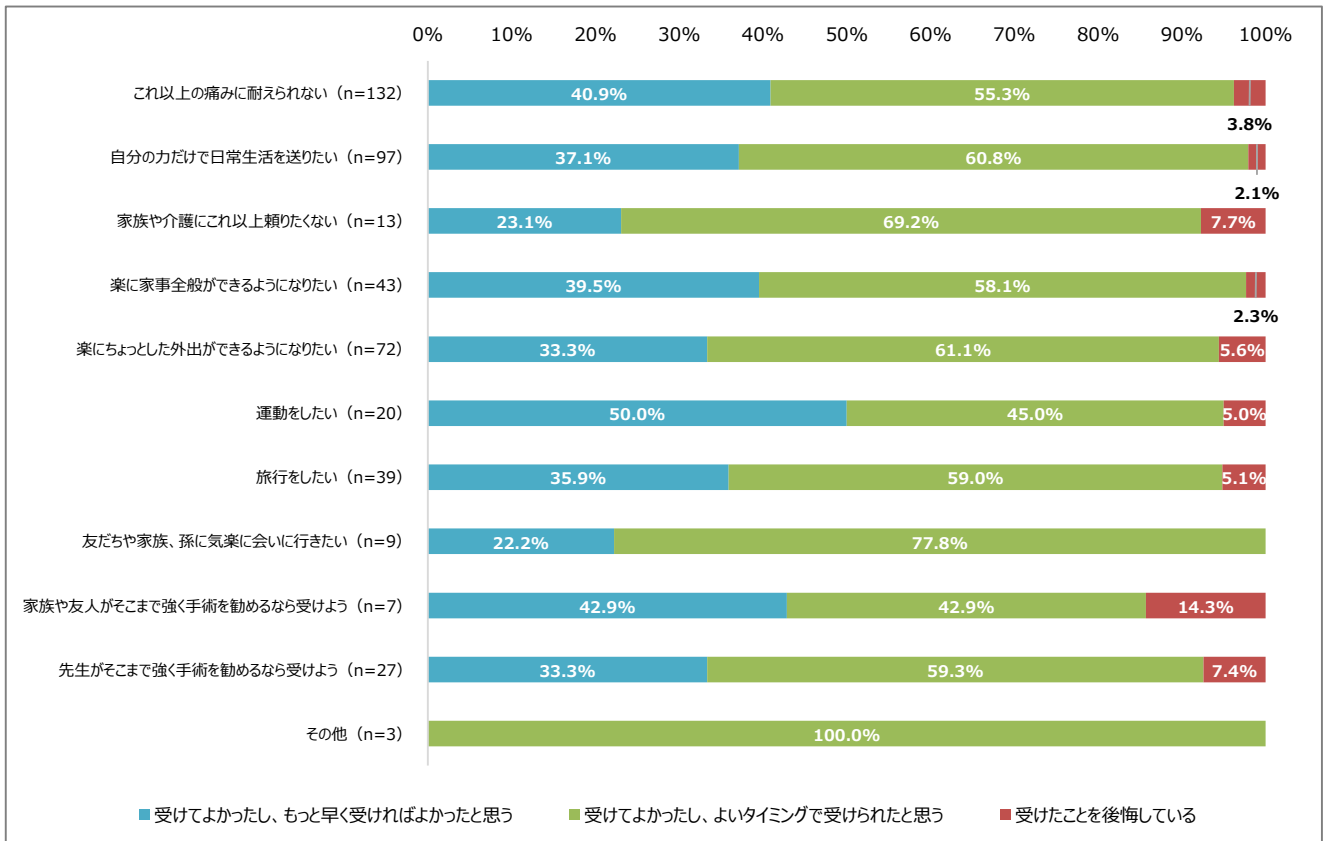
n=200		SA
	n	%
受けてよかったし、もっと早く受ければよかったと思う	80	40.0%
受けてよかったし、よいタイミングで受けられたと思う	112	56.0%
受けたことを後悔している	8	4.0%
総数	200	100.0%



【Q7×Q12】人工膝関節置換術を受けることを決意したときの気持ち×人工膝関節置換術を受けた感想

手術前に、「自分の力だけで日常生活を送りたい」「楽に家事全般ができるようになりたい」と思っていた患者の約97%が、人工膝関節置換術を「受けてよかった」と回答し、そのうち4割近くが、「もっと早く受ければよかった」と答えた。手術前に「これ以上の痛みに耐えられない」と答えた患者の40.9%も、「もっと早く受ければよかった」と答えた。

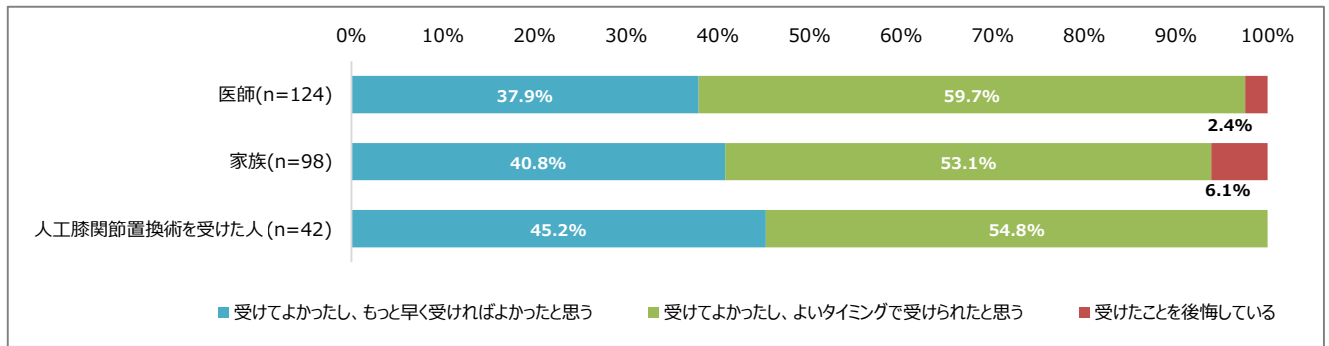
	受けてよかったし、もっと早く受ければよかったと思う	受けてよかったし、よいタイミングで受けられたと思う	受けたことを後悔している	n %
これ以上の痛みに耐えられない	54 40.9%	73 55.3%	5 3.8%	132 100.0%
自分の力だけで日常生活（階段の昇降、立ち座り）を送りたい	36 37.1%	59 60.8%	2 2.1%	97 100.0%
家族や介護にこれ以上頼りたくない	3 23.1%	9 69.2%	1 7.7%	13 100.0%
楽に家事全般（料理・洗濯・掃除）ができるようになりたい	17 39.5%	25 58.1%	1 2.3%	43 100.0%
楽にちょっとした外出（買い物、趣味など）ができるようになりたい	24 33.3%	44 61.1%	4 5.6%	72 100.0%
運動をしたい	10 50.0%	9 45.0%	1 5.0%	20 100.0%
旅行をしたい	14 35.9%	23 59.0%	2 5.1%	39 100.0%
友だちや家族、孫に気楽に会いに行きたい	2 22.2%	7 77.8%	0 0.0%	9 100.0%
家族や友人がそこまで強く手術を勧めるなら受けよう（n=7）	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	7 100.0%
先生がそこまで強く手術を勧めるなら受けよう	9 33.3%	16 59.3%	2 7.4%	27 100.0%
その他	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%



【Q9×Q12】人工膝関節置換術の決断に影響をあたえた人×人工膝関節置換術を受けた感想

医師からの勧めで人工膝関節置換術を受ける決意をした患者の59.7%が、「よいタイミングで受けられた」と回答した。「もっと早く受ければよかった」と答えた患者は37.9%だった。一方、家族の勧めで決意した患者では、「よいタイミングで受けられた」は53.1%、「もっと早く受ければよかった」は40.8%だった。

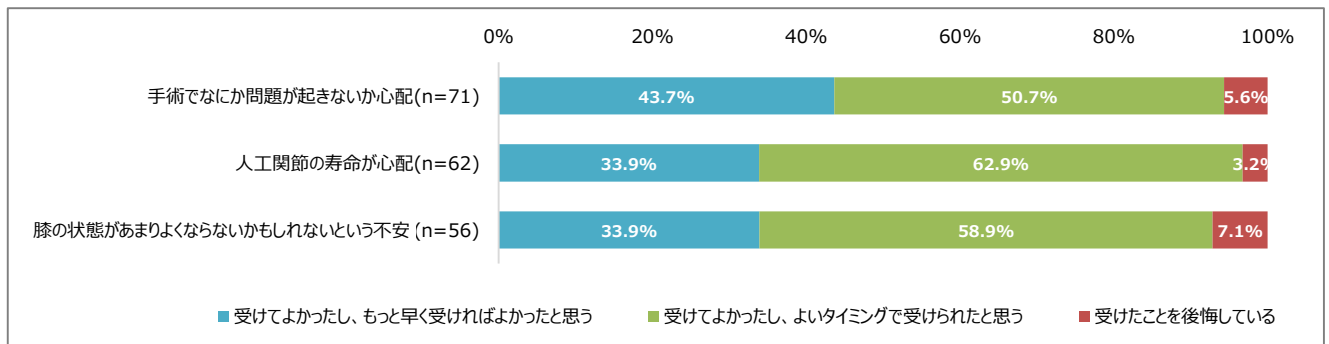
	受けてよかったし、もっと早く受ければよかったと思う	受けてよかったし、よいタイミングで受けられたと思う	受けたことを後悔している	n %
医師	47 37.9%	74 59.7%	3 2.4%	124 100.0%
家族	40 40.8%	52 53.1%	6 6.1%	98 100.0%
人工膝関節置換術を受けた人	19 45.2%	23 54.8%	0 0.0%	42 100.0%



【Q10×Q12】人工膝関節置換術のイメージ×人工膝関節置換術を受けた感想

手術前に、「手術でなにか問題が起きないか心配」と答えていた患者のうち、43.7%は「もっと早く受ければよかった」と答えた。「人工関節の寿命が心配」「膝の状態があまりよくなるかもしれないという不安」を抱いていた患者の約6割が「よいタイミングで受けられた」と回答した。

	受けてよかったし、もっと早く受ければよかったと思う	受けてよかったし、よいタイミングで受けられたと思う	受けたことを後悔している	n %
手術でなにか問題が起きないか心配	31 43.7%	36 50.7%	4 5.6%	71 100.0%
人工関節の寿命が心配	21 33.9%	39 62.9%	2 3.2%	62 100.0%
膝の状態があまりよくなるかもしれないという不安	19 33.9%	33 58.9%	4 7.1%	56 100.0%



60歳以上の変形性膝関節症患者

調査実施概要

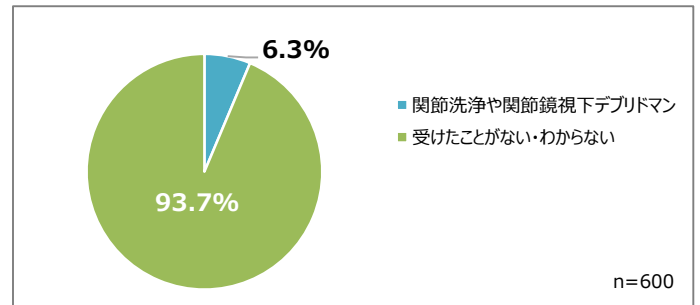
▼調査対象内訳

(1) 性別・年代

	男性	女性	n %
60代	287	133	420
	68.3%	31.7%	100.0%
70代	133	115	248
	53.6%	46.4%	100.0%

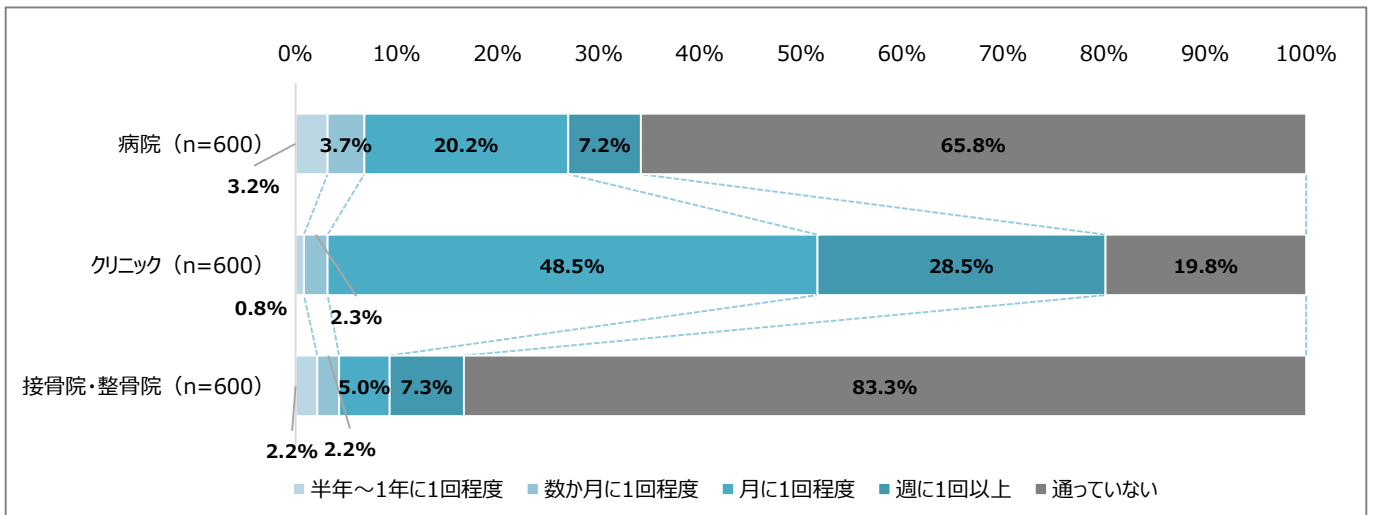
【SC1】あなたは膝の手術を受けたことがありますか。ある場合、あてはまるものをお選びください。

n=600	SA	
	n	%
人工膝関節置換術	0	0.0%
高位脛骨骨切り術	0	0.0%
関節洗浄や関節鏡視下デブリドマン	38	6.3%
受けたことがない・わからない	562	93.7%
総数	600	100.0%



【SC2】あなたは現在、変形性膝関節症の治療・リハビリのために、定期的に通院していますか。

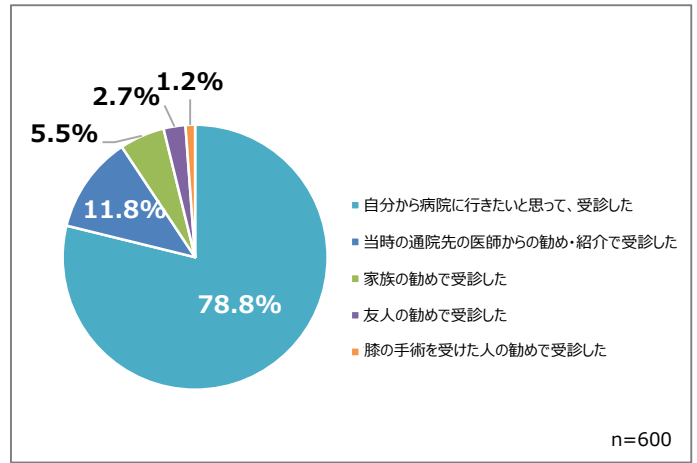
n=600	SA					
	半年～1 年に1回 程度	数か月に1 回程度	月に1回 程度	週に1回 以上	通っていな い	n %
病院	19	22	121	43	395	600
	3.2%	3.7%	20.2%	7.2%	65.8%	100.0%
クリニック	5	14	291	171	119	600
	0.8%	2.3%	48.5%	28.5%	19.8%	100.0%
接骨院・整骨院	13	13	30	44	500	600
	2.2%	2.2%	5.0%	7.3%	83.3%	100.0%



【Q1】はじめて病院を受診されたときの状況として、あてはまるものをお選びください。

78.8%が「自分から病院に行きたいと思って、受診した」と回答した。次いで、「当時の通院先の医師からの勧め・紹介で受診した」(11.8%)、「家族の勧めで受診した」(5.5%)と続いた。

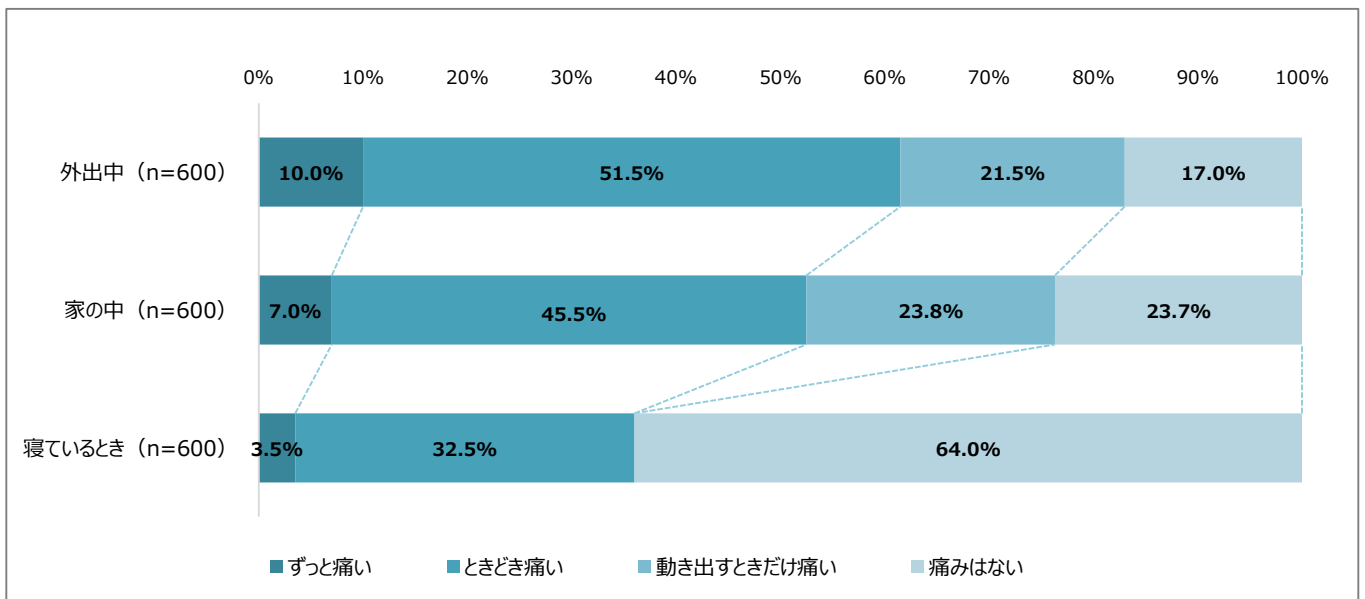
n=600		SA	
	n	%	
自分から病院に行きたいと思って、受診した	473	78.8%	
当時の通院先の医師からの勧め・紹介で受診した	71	11.8%	
家族の勧めで受診した	33	5.5%	
友人の勧めで受診した	16	2.7%	
膝の手術を受けた人の勧めで受診した	7	1.2%	
総数	600	100.0%	



【Q2】現在、痛みを感じるのはどのようなときですか。

83.0%が「外出中」に痛みを感じており、「家の中」でも痛みを感じていたのは76.3%だった。36.0%は「寝ているとき」にも痛みを感じていた。

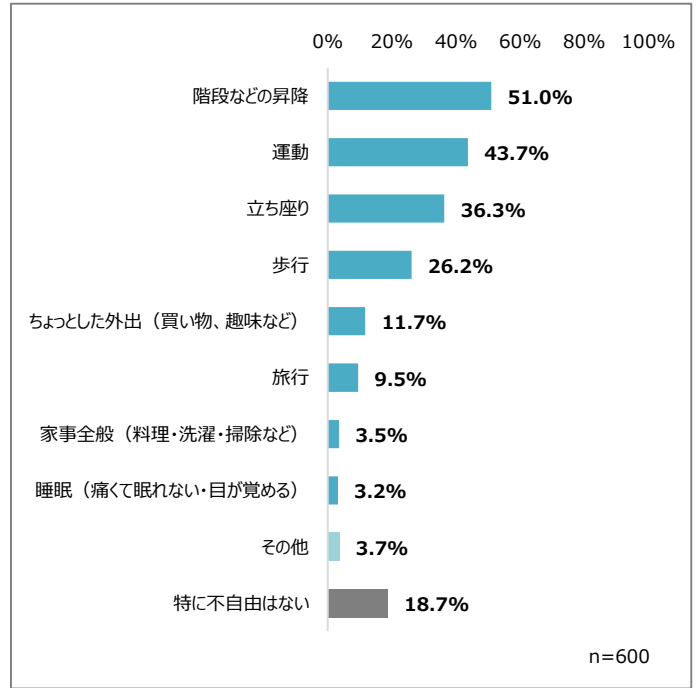
n=600		SA				
	ずっと痛い	ときどき痛い	動き出すときだけ痛い	痛みはない	n	%
外出中	60	309	129	102	600	
	10.0%	51.5%	21.5%	17.0%	600	10.0%
家の中	42	273	143	142	600	
	7.0%	45.5%	23.8%	23.7%	600	7.0%
寝ているとき	21	195	0	384	600	
	3.5%	32.5%	0.0%	64.0%	600	3.5%



【Q3】現在膝の痛みのためにできないこと、または、しんどい・つらいと感じていることは何ですか。もっともあてはまるものを最大3つまでお選びください。

「階段などの昇降」が51.0%と最も多く、次いで「運動」(43.7%)、「立ち座り」(36.3%)、「歩行」(26.2%)と続いた。

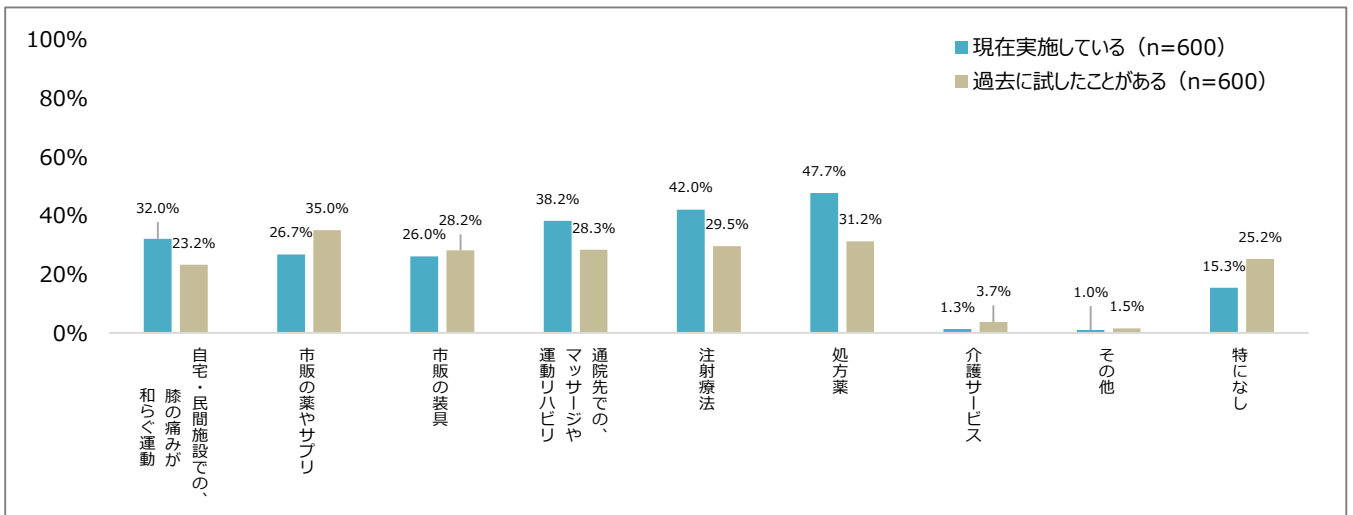
n=600		MA	
	n	%	
階段などの昇降	306	51.0%	
運動	262	43.7%	
立ち座り	218	36.3%	
歩行	157	26.2%	
ちょっとした外出（買い物、趣味など）	70	11.7%	
旅行	57	9.5%	
家事全般（料理・洗濯・掃除など）	21	3.5%	
睡眠（痛くて眠れない・目が覚める）	19	3.2%	
その他	22	3.7%	
特に不自由はない	112	18.7%	
総数	600	207.3%	
総数	600	100.0%	



【Q4】今までにどのような治療や介助・対策を試したことがありますか。また、現在、何か治療や介助を受けられたり対策を取られていることはありますか。

現在実施している治療や介助・対策では、「処方薬（痛みどめ、湿布など）」(47.7%)が最も多く、「注射療法」(42.0%)、「通院先での、マッサージや運動リハビリ」(38.2%)、「自宅・民間施設での、膝の痛みが和らぐ運動」(32.0%)と続いた。過去に試したことがある治療や介助・対策では、「市販の薬（湿布、痛みどめなど）やサプリ」(35.0%)が最多で、「処方薬（痛みどめ、湿布など）」(31.2%)、「注射療法」(29.5%)と続いた。

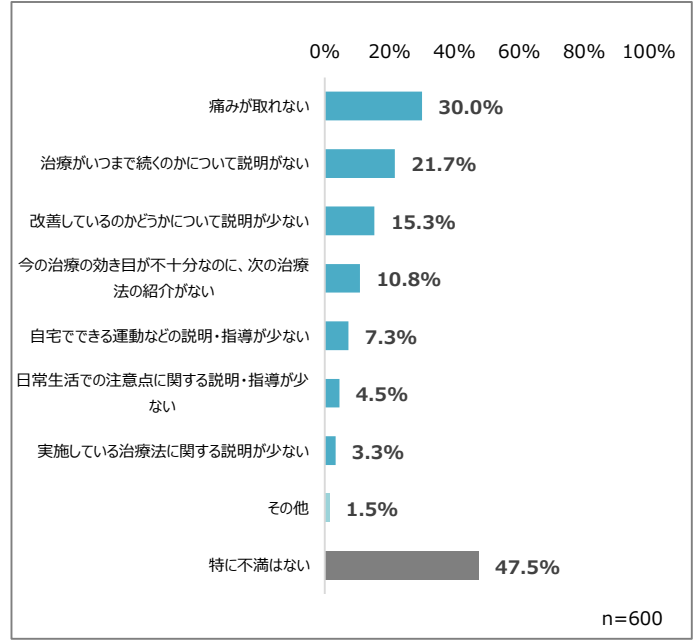
	自宅・民間施設での、膝の痛みが和らぐ運動	市販の薬（湿布、痛みどめなど）やサプリ	市販の装具（杖、足底板、サポーターなど）	通院先での、マッサージや運動リハビリ	注射療法	処方薬（痛みどめ、湿布など）	介護サービス	その他	特になし	n
現在実施している	192	160	156	229	252	286	8	6	92	600
	32.0%	26.7%	26.0%	38.2%	42.0%	47.7%	1.3%	1.0%	15.3%	230.2%
過去に試したことがある	139	210	169	170	177	187	22	9	151	600
	23.2%	35.0%	28.2%	28.3%	29.5%	31.2%	3.7%	1.5%	25.2%	205.7%



**【Q5】現在受けている治療に対して、不満に感じていることは何かありますか。
もっともあてはまるもの最大3つまでお選びください。**

52.5%が現在受けている治療に何らかの不満を抱いていた。内訳は「痛みが取れない」が最多で30.0%、「治療がいつまで続くのかについて説明がない」（21.7%）、「改善しているのかわからない」（15.3%）、「今の治療の効き目が不十分なのに、次の治療法の紹介がない」（10.8%）と続いた。
n=600 MA

	n	%
痛みが取れない	180	30.0%
治療がいつまで続くのかについて説明がない	130	21.7%
改善しているのかわからない	92	15.3%
今の治療の効き目が不十分なのに、次の治療法の紹介がない	65	10.8%
自宅で行える運動などの説明・指導が少ない	44	7.3%
日常生活での注意点に関する説明・指導が少ない	27	4.5%
実施している治療法に関する説明が少ない	20	3.3%
その他	9	1.5%
特に不満はない	285	47.5%
総数	600	142.0%
総数	600	100.0%

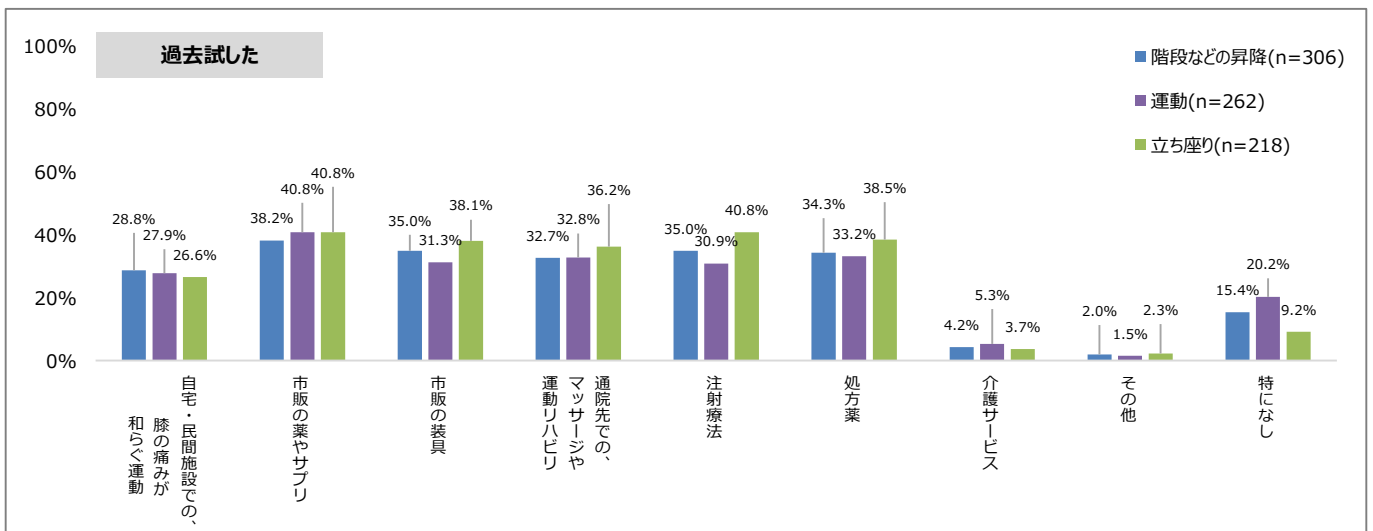
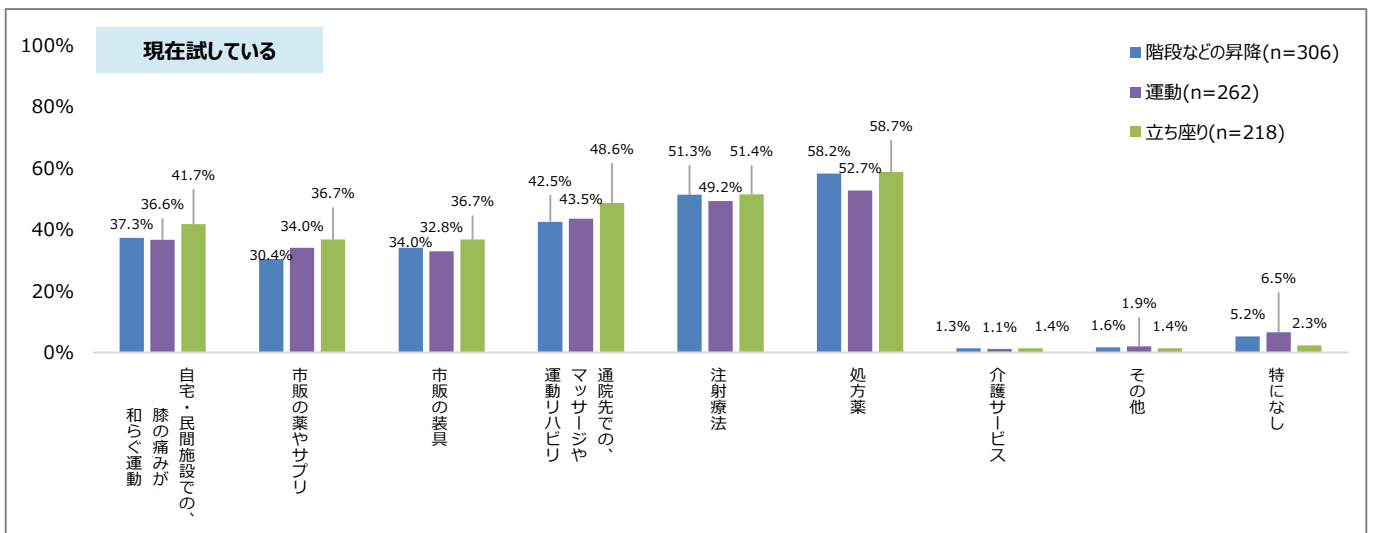


【Q3×Q4】痛みでつらいこと・できないこと×現在試している（過去試した）治療・対策

痛みで「階段などの昇降」「運動」が「つらい・できない」と答えた患者の5～6割は、「処方薬」「注射療法」といった病院での治療を受けていた。「市販の薬」「市販の装具」は3割程度が使用していた。痛みで「立ち座り」が「つらい・できない」と答えた患者も同様の傾向がみられたが、「自宅・民間施設での、膝の痛みが和らぐ運動」を行っている患者が41.7%と、「階段などの昇降」（37.3%）「運動」（36.6%）に比べ、やや多い傾向がみられた。

痛みで「立ち座り」が「つらい・できない」と答えた患者の約4割が、過去に「処方薬」「注射療法」「通院先でのマッサージやリハビリ」といった病院での治療を受けていたほか、「市販の薬」「市販の装具」を使用したことがあるという患者も約4割いた。「自宅・民間施設での、膝の痛みが和らぐ運動」を行ったことがある患者は、「階段などの昇降」（28.8%）、「運動」（27.9%）が「つらい・できない」と答えた患者のほうが、「立ち座り」（26.6%）よりもわずかに多かった。

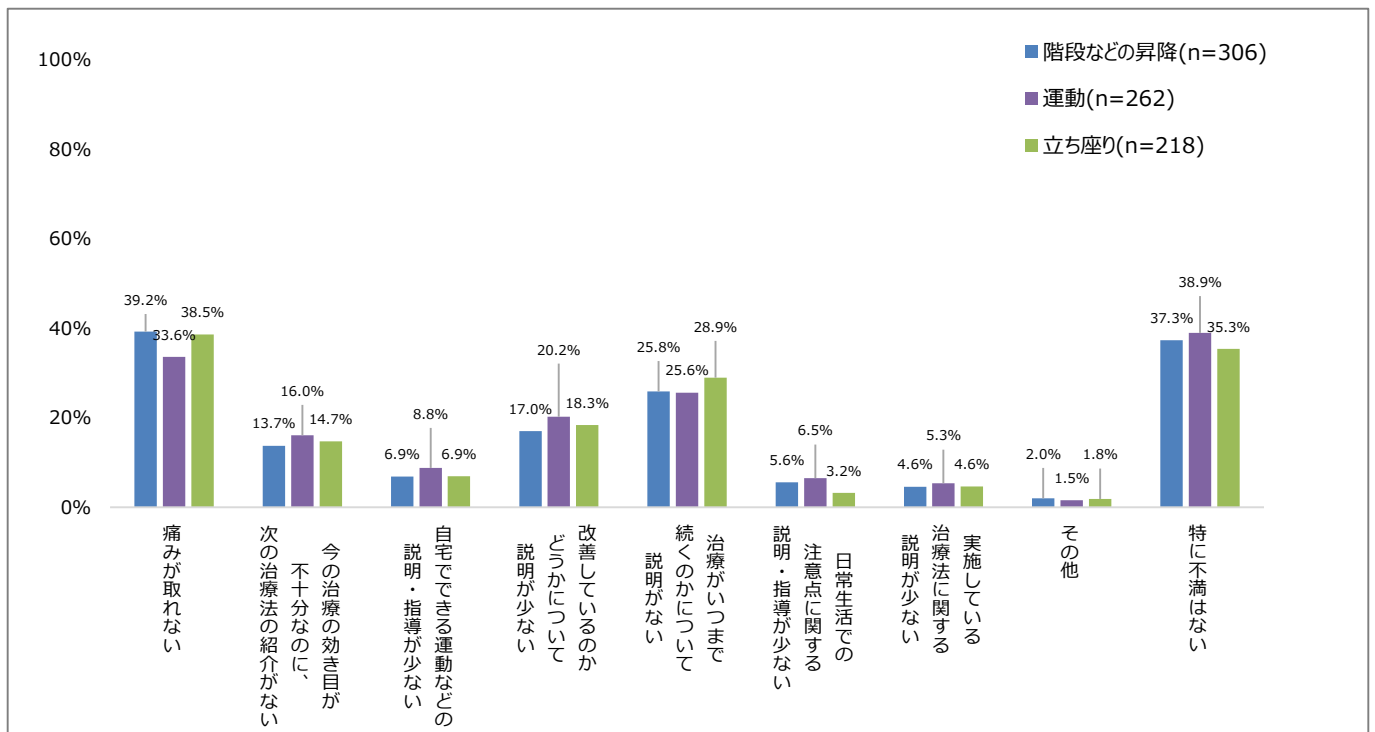
	自宅・民間施設での、膝の痛みが和らぐ運動	市販の薬（湿布、痛みどめなど）やサブリ	市販の装具（杖、足底板、サポーターなど）	通院先での、マッサージや運動リハビリ	注射療法	処方薬（痛みどめ、湿布など）	介護サービス	その他	特になし	n
【現在試している】										
階段などの昇降	114	93	104	130	157	178	4	5	16	306
	37.3%	30.4%	34.0%	42.5%	51.3%	58.2%	1.3%	1.6%	5.2%	261.8%
運動	96	89	86	114	129	138	3	5	17	262
	36.6%	34.0%	32.8%	43.5%	49.2%	52.7%	1.1%	1.9%	6.5%	258.4%
立ち座り	91	80	80	106	112	128	3	3	5	218
	41.7%	36.7%	36.7%	48.6%	51.4%	58.7%	1.4%	1.4%	2.3%	278.9%
【過去試した】										
階段などの昇降	88	117	107	100	107	105	13	6	47	306
	28.8%	38.2%	35.0%	32.7%	35.0%	34.3%	4.2%	2.0%	15.4%	225.5%
運動	73	107	82	86	81	87	14	4	53	262
	27.9%	40.8%	31.3%	32.8%	30.9%	33.2%	5.3%	1.5%	20.2%	224.0%
立ち座り	58	89	83	79	89	84	8	5	20	218
	26.6%	40.8%	38.1%	36.2%	40.8%	38.5%	3.7%	2.3%	9.2%	236.2%



【Q3×Q5】痛みでつらいこと・できないこと×現在受けている治療に対する不満

痛みで「運動」ができないと答えた患者の38.9%が、現在受けている治療に対して「特に不満がない」と回答した。「階段などの昇降」「立ち座り」ができないと答えた患者では、それぞれ39.2%、38.5%が「痛みが取れない」ことに不満を抱いていた。いずれの群でも、3割弱の患者が「治療がいつまで続くのかについて説明がない」ことに不満だと答えた。

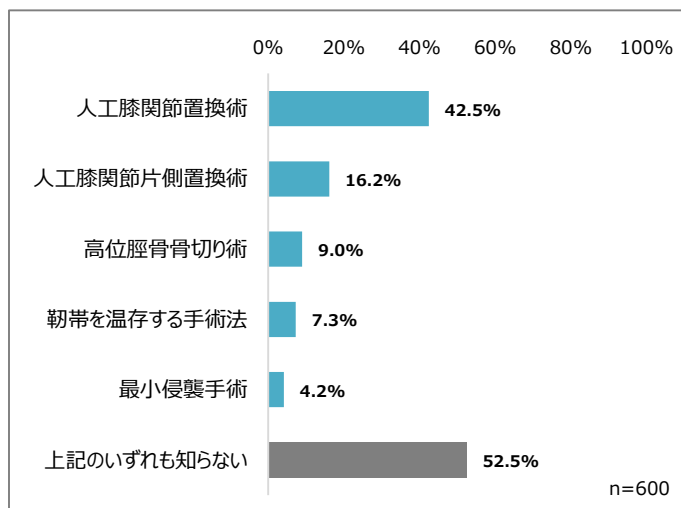
	痛みが取れない	今の治療の効き目が不十分なのに、次の治療法の紹介がない	自宅でできる運動などの説明・指導が少ない	改善しているのかわからない	治療がいつまで続くのかについて説明がない	日常生活での注意点に関する説明・指導が少ない	実施している治療法に関する説明が少ない	その他	特に不満はない	n	%
階段などの昇降	120	42	21	52	79	17	14	6	114	306	
	39.2%	13.7%	6.9%	17.0%	25.8%	5.6%	4.6%	2.0%	37.3%	152.0%	
運動	88	42	23	53	67	17	14	4	102	262	
	33.6%	16.0%	8.8%	20.2%	25.6%	6.5%	5.3%	1.5%	38.9%	156.5%	
立ち座り	84	32	15	40	63	7	10	4	77	218	
	38.5%	14.7%	6.9%	18.3%	28.9%	3.2%	4.6%	1.8%	35.3%	152.3%	



【Q6】次の膝の手術の中で、あなたが見聞きしたことがあるものはありますか。

「人工膝関節置換術」が42.5%と最も多く、次いで「人工膝関節片側置換術」（16.2%）、「高位脛骨骨切り術」（9.0%）、「靭帯を温存する手術法」（7.3%）と続いた。いずれも知らないと答えた患者は52.5%だった。

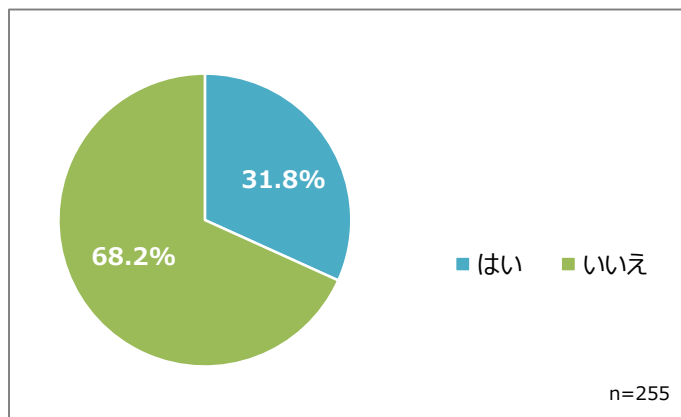
n=600		MA
	n	%
人工膝関節置換術	255	42.5%
人工膝関節片側置換術	97	16.2%
高位脛骨骨切り術	54	9.0%
靭帯を温存する手術法	44	7.3%
最小侵襲手術	25	4.2%
上記のいずれも知らない	315	52.5%
総数	600	131.7%



**【Q7】人工膝関節という治療法について、通院先の医師から話をされたり、説明を受けたりしたことはありますか。
※Q6で「人工膝関節置換術」について見聞きしたことがあると答えた方のみ回答**

68.2%は、人工膝関節という治療法について、医師から話を聞いたり説明を受けたりしていなかった。

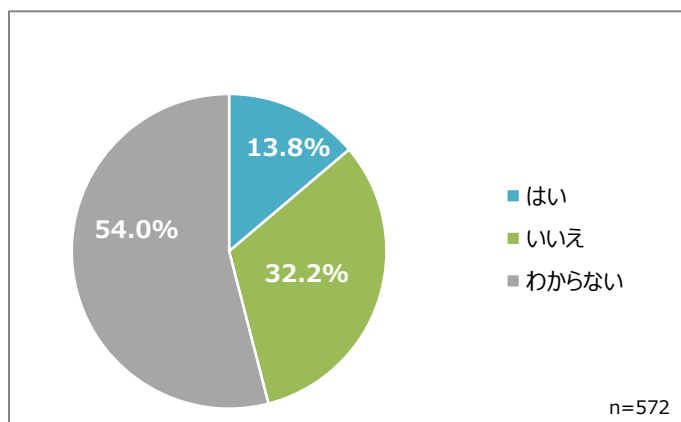
n=255		SA
	n	%
はい	81	31.8%
いいえ	174	68.2%
総数	255	100.0%



【Q8】今後症状が悪化し、人工膝関節置換術を医師から勧められることがあったら、あなたは人工膝関節置換術を受けると考えますか。

症状が悪化し、医師から人工膝関節置換術を勧められたら手術を「受けたい」と回答したのは13.8%だった。「受けたくない」と答えたのは32.2%、54.0%は「わからない」と回答した。

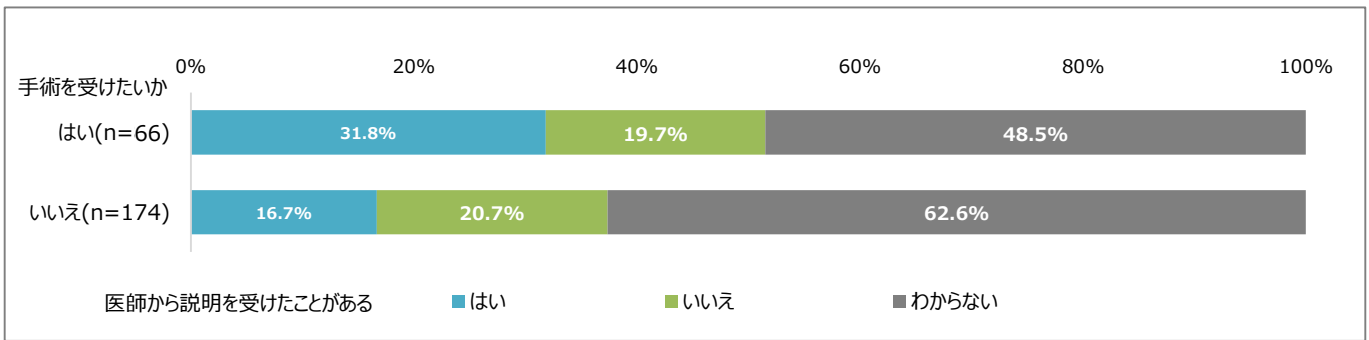
n=572		SA
	n	%
はい	79	13.8%
いいえ	184	32.2%
わからない	309	54.0%
総数	572	100.0%



【Q7×Q8】Q7.人工膝関節置換術の説明を医師からされたことがあるか×Q8.今後人工膝関節置換術を受けたいと思うか

人工膝関節置換術について、医師から説明を受けたことがある患者は、31.8%が今後手術を「受けたい」と回答し、「受けたくない」(19.7%)を上回った。一方、医師からの説明がなかった患者は、20.7%が「受けたくない」と回答し、「受けたい」と答えた16.7%を上回った。わからないと答えた患者も62.6%いた。

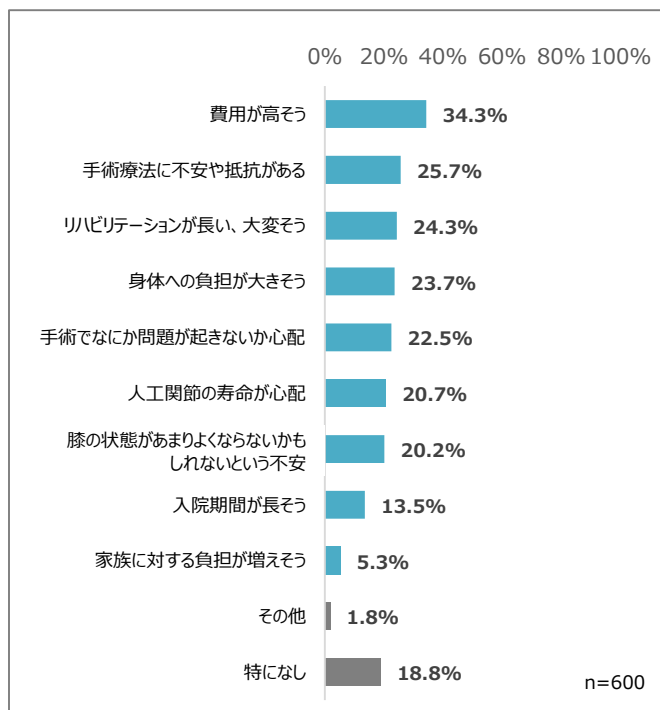
	医師から説明を受けたことがある			n %
	はい	いいえ	わからない	
手術を受けたいか				
はい	21 31.8%	13 19.7%	32 48.5%	66 100.0%
いいえ	29 16.7%	36 20.7%	109 62.6%	174 100.0%



【Q9】人工膝関節置換術について、不安やマイナスイメージはありますか。もっともあてはまるものを最大3つまでお選びください。

81.2%が何らかの不安やマイナスイメージを持っていた。「費用が高そう」が34.3%と最も多く、次いで「手術療法に不安や抵抗がある」(25.7%)、「リハビリテーションが長い、大変そう」(24.3%)、「身体への負担が大きそう」(23.7%)と続いた。

n=600		MA
	n	%
費用が高そう	206	34.3%
手術療法に不安や抵抗がある (メスを入れる、人工物が入る、骨や腱がなくなる)	154	25.7%
リハビリテーションが長い、大変そう	146	24.3%
身体への負担が大きそう (年齢、体力的に、など)	142	23.7%
手術でなにか問題が起きないか心配	135	22.5%
人工関節の寿命が心配	124	20.7%
膝の状態があまりよくならない (痛み、膝の動き) かもしれないという不安	121	20.2%
入院期間が長そう	81	13.5%
家族に対する負担が増えそう	32	5.3%
その他	11	1.8%
特になし	113	18.8%
総数	600	210.8%

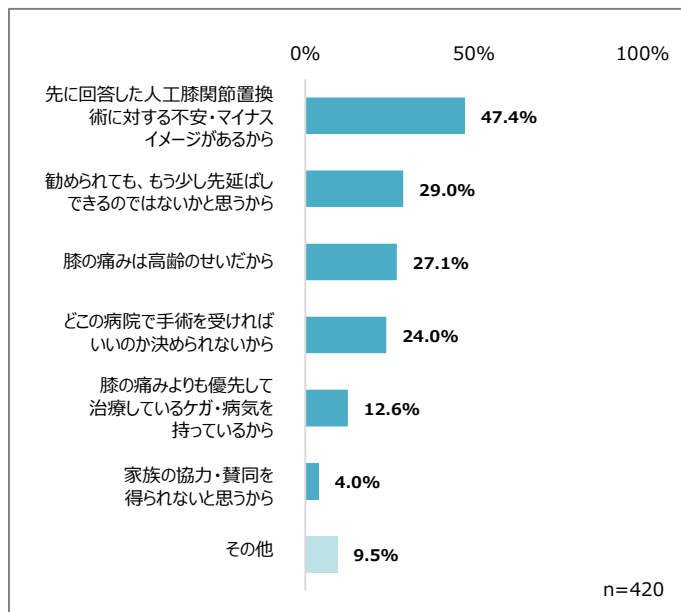


【Q10】先生に勧められても、人工膝関節置換術を受けることにあまり積極的でない方にお伺いします。その理由は何ですか？

※Q8で「はい」「すでに紹介されており、受ける予定がある」以外を選んでも、かつ「とくになし」以外を選んだ方のみ回答

「Q9で答えた不安・マイナスイメージがあるから」が47.4%と最も多く、次いで「勧められても、もう少し先延ばしできるのではないかと思うから」(29.0%)、「膝の痛みは高齢のせいだから」(27.1%)、「どこの病院で手術を受ければいいのか決められないから」(24.0%)と続いた。

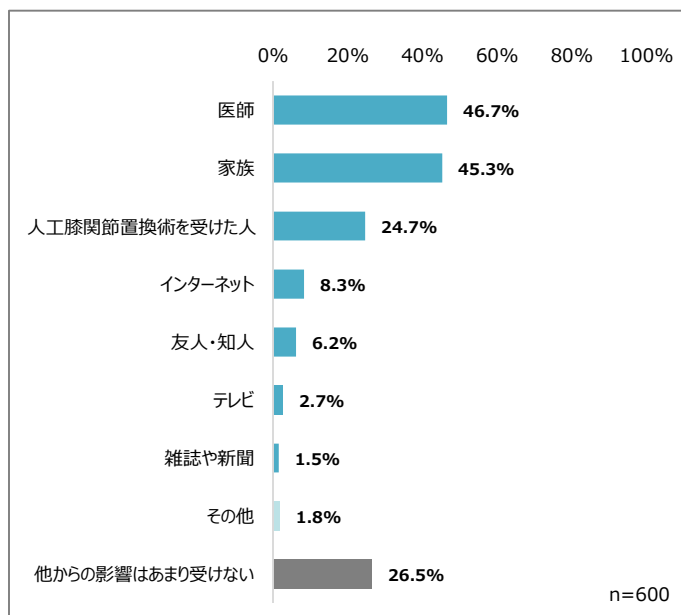
n=420		MA
	n	%
先に回答した人工膝関節置換術に対する不安・マイナスイメージがあるから	199	47.4%
勧められても、もう少し先延ばしできるのではないかと思うから	122	29.0%
膝の痛みは高齢のせいだから	114	27.1%
どこの病院で手術を受ければいいのか決められないから	101	24.0%
膝の痛みよりも優先して治療しているケガ・病気を 持っているから	53	12.6%
家族の協力・賛同を得られないと思うから	17	4.0%
その他	40	9.5%
総数	420	153.8%



【Q11】人工膝関節置換術を受けるかどうかの決断に際して、あなたの決断に影響をあたえるのはだれ・何ですか。もっともあてはまるものを最大3つまでお選びください

「医師」が46.7%と最も多く、次いで「家族」（45.3%）、「人工膝関節置換術を受けた人」（24.7%）と続いた。26.5%は「他からの影響はあまり受けない」と答えた。

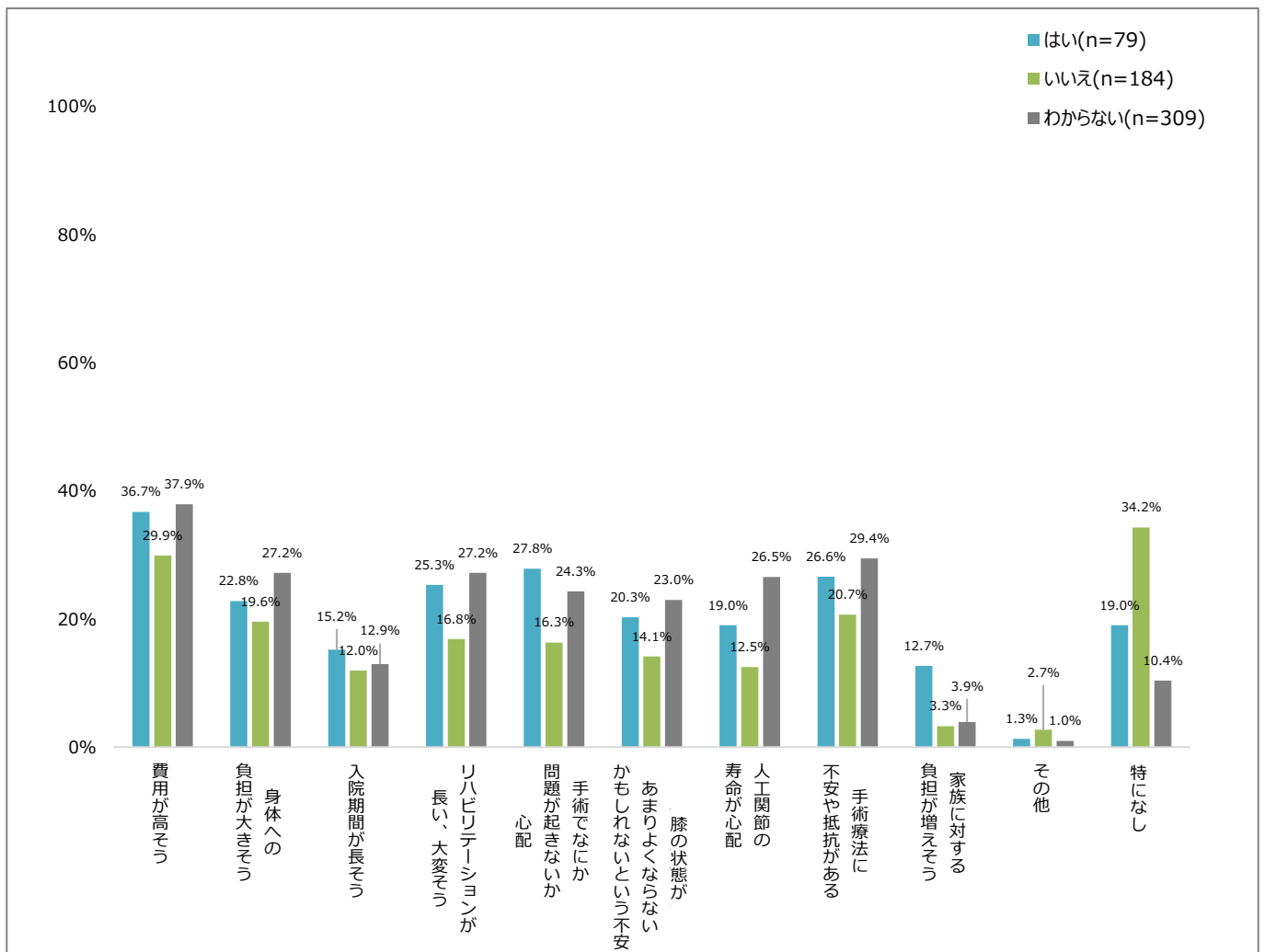
	MA	
	n	%
n=600		
医師	280	46.7%
家族	272	45.3%
人工膝関節置換術を受けた人	148	24.7%
インターネット	50	8.3%
友人・知人	37	6.2%
テレビ	16	2.7%
雑誌や新聞	9	1.5%
その他	11	1.8%
他からの影響はあまり受けない	159	26.5%
総数	600	163.7%



【Q8×Q9】Q8.今後人工膝関節置換術を受けたいと思うか×Q9.人工膝関節置換術のイメージ

今後人工膝関節置換術を「受けたい」と思っている患者にとって、手術に対する心配は「費用が高そう」（36.7%）が最も多く、「手術でなにか問題が起きないか心配」（27.8%）、「手術療法に不安や抵抗がある」（26.6%）、「リハビリテーションが長い、大変そう」（25.3%）と続いた。人工膝関節置換術を「受けたくない」と答えた患者では、「費用が高そう」（29.9%）が最多である点は「受けたい」患者と同様だが、次点以下は「手術療法に不安や抵抗がある」（20.7%）、「身体への負担が大きそう」（19.6%）、「リハビリテーションが長い、大変そう」（16.8%）と続いた。「受けるかどうかわからない」と答えた患者でも「受けない」患者と同様の傾向がみられた。

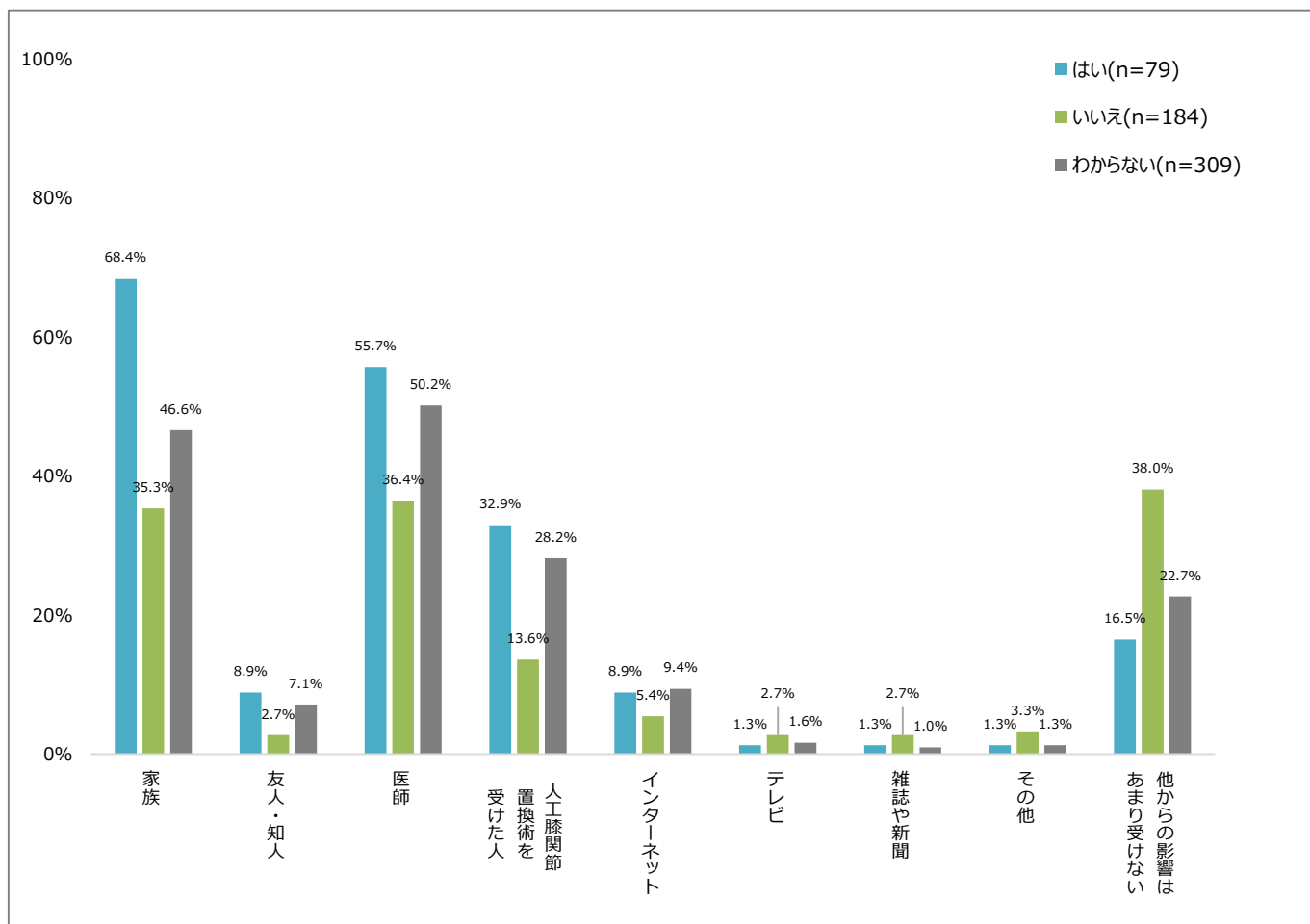
	費用が高そう	身体への負担が大きそう	入院期間が長そう	リハビリテーションが長い、大変そう	手術でなにか問題が起きないか心配	膝の状態があまりよくなりたくないかもしれないという不安	人工関節の寿命が心配	手術療法に不安や抵抗がある	家族に対する負担が増えそう	その他	特になし	n	%
はい	29	18	12	20	22	16	15	21	10	1	15	79	
	36.7%	22.8%	15.2%	25.3%	27.8%	20.3%	19.0%	26.6%	12.7%	1.3%	19.0%	226.6%	
いいえ	55	36	22	31	30	26	23	38	6	5	63	184	
	29.9%	19.6%	12.0%	16.8%	16.3%	14.1%	12.5%	20.7%	3.3%	2.7%	34.2%	182.1%	
わからない	117	84	40	84	75	71	82	91	12	3	32	309	
	37.9%	27.2%	12.9%	27.2%	24.3%	23.0%	26.5%	29.4%	3.9%	1.0%	10.4%	223.6%	



【Q8×Q11】Q8.今後人工膝関節置換術を受けたいと思うか×Q11.人工膝関節置換術の決断に影響をあたえる人・もの

今後人工膝関節置換術を「受けたい」と思っている患者に対して影響力を持っているのは、「家族」(68.4%)が最も多く、「医師」(55.7%)、「人工膝関節置換術を受けた人」(32.9%)と続いた。「受けたくない」と答えた患者では、「他からの影響はあまり受けない」(38.0%)が最多で、次いで「医師」(36.4%)と「家族」(35.3%)が拮抗していた。

	家族	友人・知人	医師	人工膝関節置換術を受けた人	インターネット	テレビ	雑誌や新聞	その他	他からの影響はあまり受けない	n %
はい	54 68.4%	7 8.9%	44 55.7%	26 32.9%	7 8.9%	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%	13 16.5%	79 194.9%
いいえ	65 35.3%	5 2.7%	67 36.4%	25 13.6%	10 5.4%	5 2.7%	5 2.7%	6 3.3%	70 38.0%	184 140.2%
わからない	144 46.6%	22 7.1%	155 50.2%	87 28.2%	29 9.4%	5 1.6%	3 1.0%	4 1.3%	70 22.7%	309 168.0%

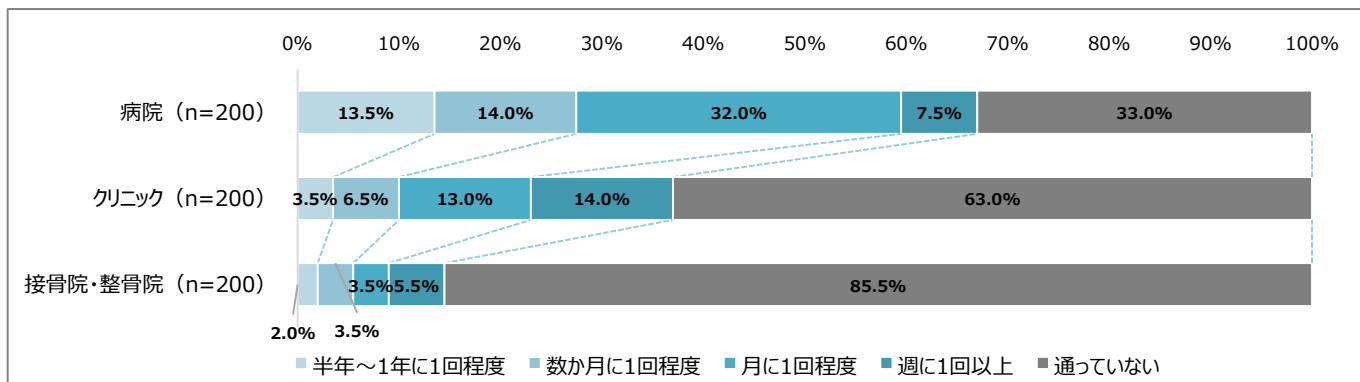


経験者と非経験者の比較

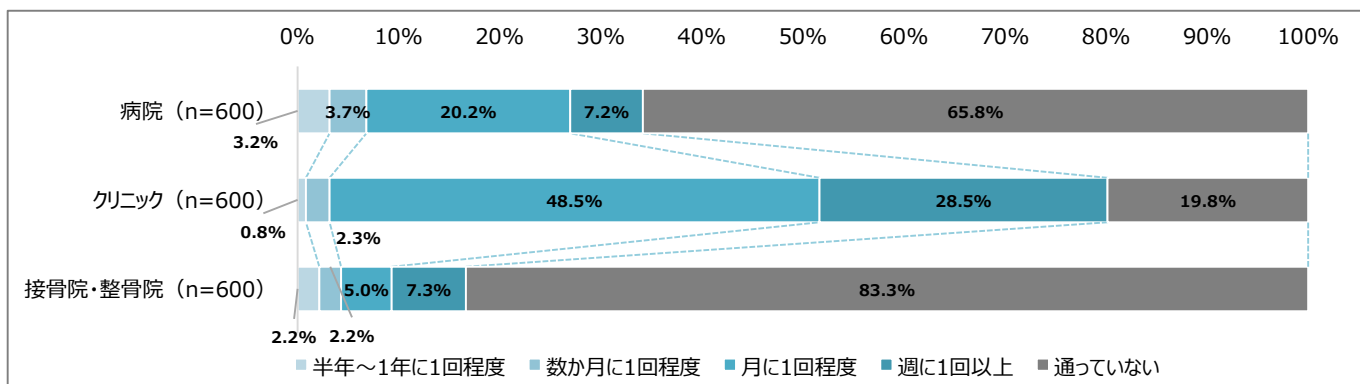
【Q1】変形性膝関節症の治療・リハビリのために、定期的に通院していました（通院しています）か。

人工膝関節置換術を受けた患者では、67.0%が病院に定期的に通院していた。クリニックに通院していた患者は37.0%で、接骨院・整骨院は14.5%だった。一方、人工膝関節置換術を受けていない患者は80.2%がクリニックに通院しており、病院に通っている患者は34.2%、接骨院・整骨院は16.7%だった。

経験者：人工膝関節置換術を受けようとした頃、変形性膝関節症の治療・リハビリのために、定期的に通院していましたか。

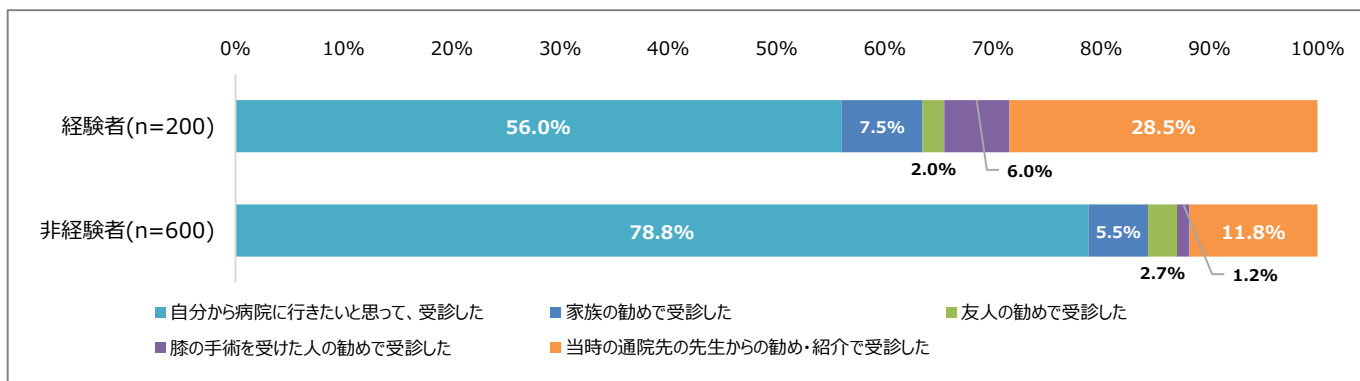


非経験者：あなたは現在、変形性膝関節症の治療・リハビリのために、定期的に通院していますか。



【Q2】はじめて病院を受診されたときの状況として、あてはまるものをお選びください。

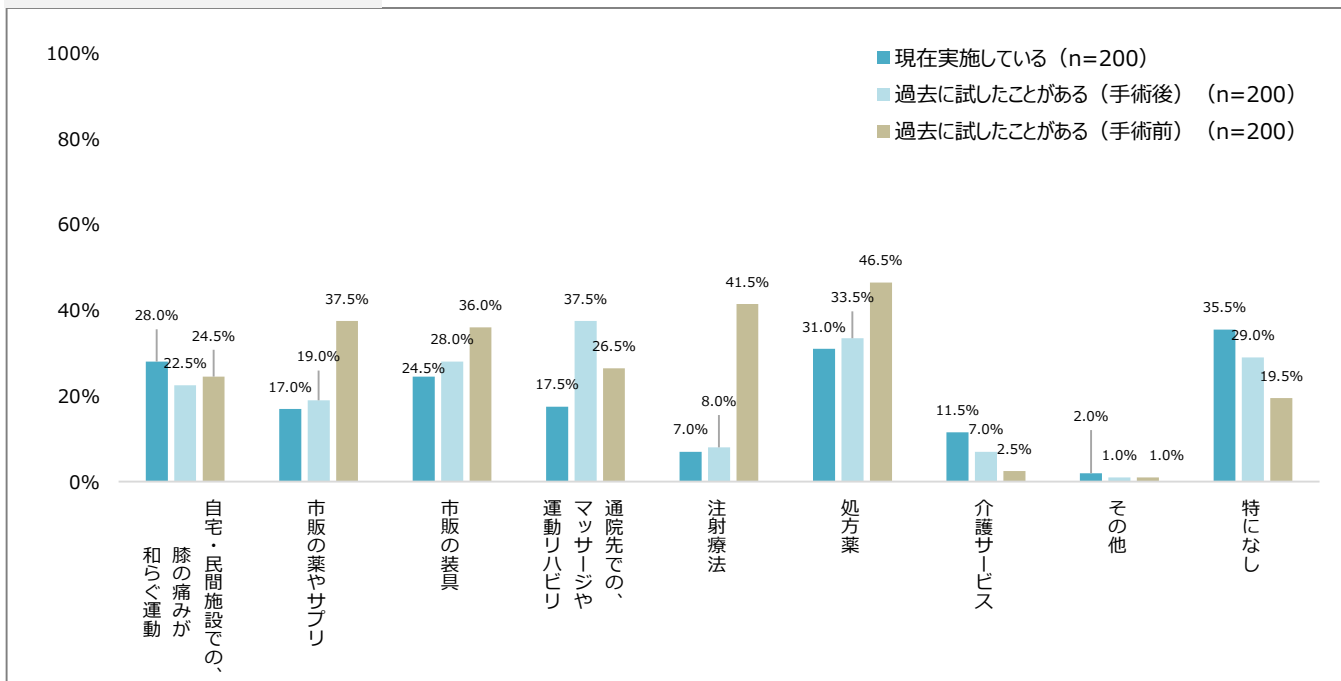
人工膝関節置換術を受けた患者の28.5%が「当時の通院先の先生からの勧め・紹介で受診」していた。一方、人工膝関節置換術を受けていない患者では「当時の通院先の先生からの勧め・紹介で受診」は11.8%に留まり、「自分から病院に行きたいと思って受診した」が最多の78.8%だった。



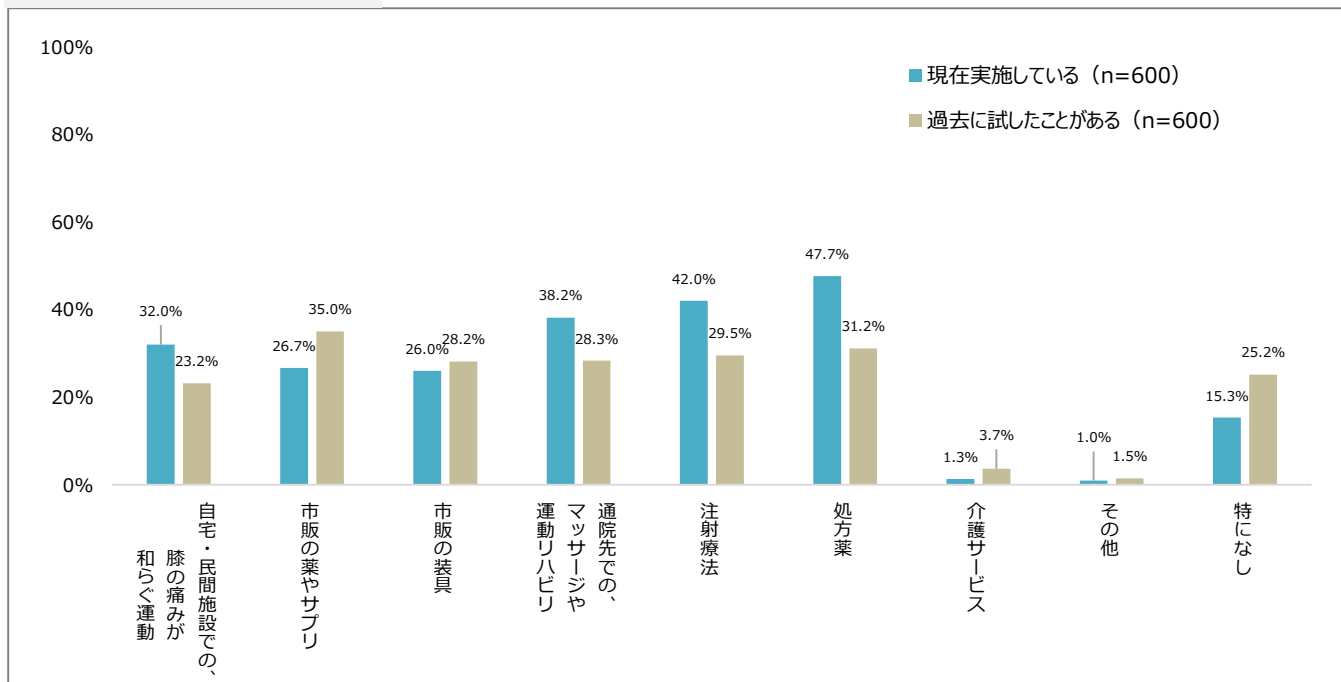
【Q3】今までにどのような治療や介助・対策を試したことがありますか。また、現在、何か治療や介助を受けられたり対策を取られていることはありますか。

人工膝関節置換術を受けた患者の35.5%は、現在実施している治療や介助・対策は「特になし」と答えた。一方、人工膝関節置換術を受けていない患者は84.7%が何らかの治療や介助・対策を行っていた。

経験者

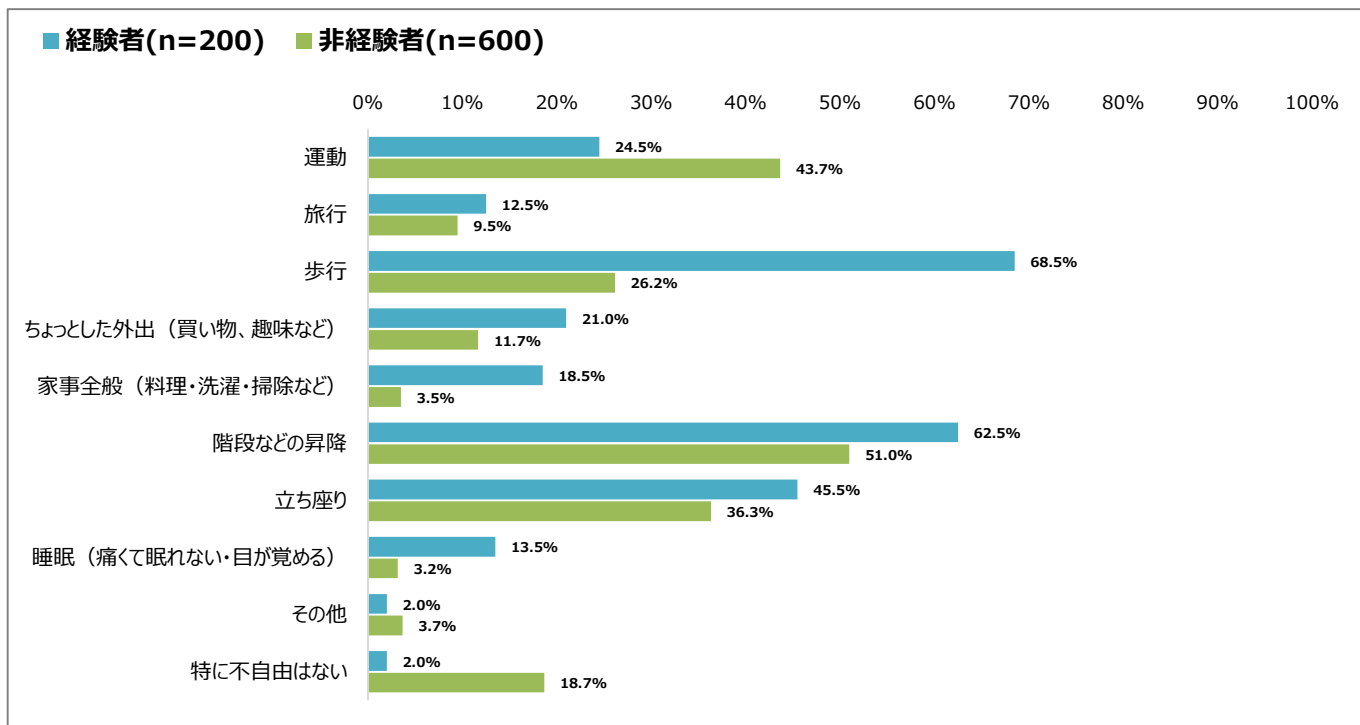


非経験者



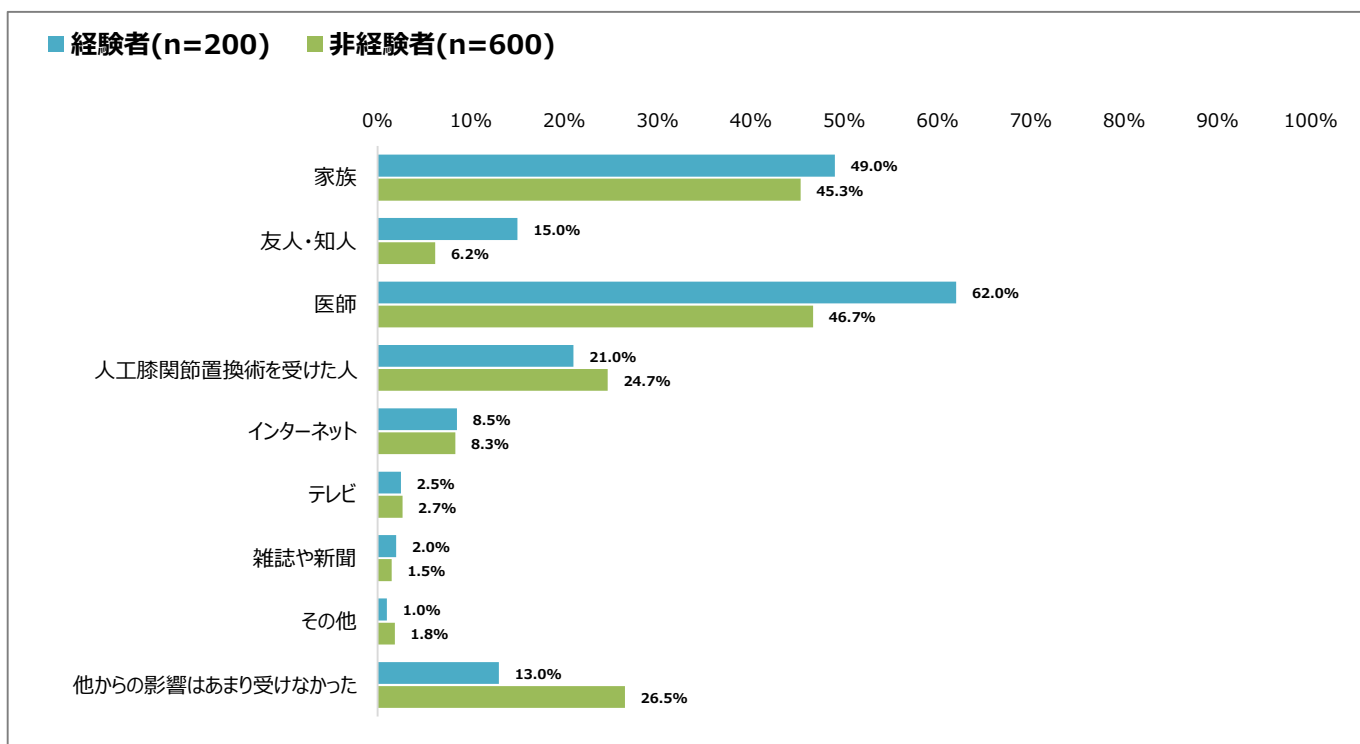
【Q4】膝の痛みのためにできなかった、または、しんどい・つらいと感じていた（感じている）ことは何ですか。

人工膝関節置換術を受けた患者では「歩行」(68.5%)が最も多かった。人工膝関節置換術を受けていない患者は最多は「階段の昇降」の51.0%だったが、次いで「運動」(43.7%)が多かった。



【Q5】人工膝関節置換術を受けるかどうかの決断に際して、あなたの決断に影響をあたえた（影響をあたえる）のはだれ・何ですか。

人工膝関節置換術を受けた患者は「医師」の影響が最も大きく（62.0%）、次いで「家族」（49.0%）が多かった。人工膝関節置換術を受けていない患者でも「医師」（46.7%）、「家族」（45.3%）が多い点では共通していたが、「他からの影響を受けない」と答えた患者が26.5%と、人工膝関節置換術を受けた患者の13.0%に比べて多かった。



【Q6】人工膝関節置換術について、不安やマイナスイメージはありました（あります）か。

人工膝関節置換術を受けた患者では、「手術でなにか問題が起きないか」（35.5%）、「人工関節の寿命」（31.0%）、「膝の状態があまりよくなるかもしれない」（28.0%）だった。一方、人工膝関節置換術を受けていない患者は「費用が高そう」（34.3%）、「手術療法に不安や抵抗がある」（25.7%）、「リハビリテーションが長い、大変そう」（24.3%）だった。

■ 経験者(n=200) ■ 非経験者(n=600)

